

建設業社会貢献活動事例集

平成24年度

生活を守り
まちをささえる
建設業

一般社団法人 全国建設業協会
47都道府県建設業協会

はじめに

東日本大震災から早くも二年が経過しましたが、本格復興に向けての動きはまだまだ十分とは言えない状況が続いており、今後も、建設業界が気を緩めることなく、中心的な役割を担っていくという責任感をもって、社会的責任を果たしていくことが求められています。

建設業界が発災直後から果たしてきた被災者の救援・救助活動、瓦礫の撤去、道路の啓開作業等への取り組みにより、国民・社会の建設業に対する認識が少しずつ変わりつつあり、各地で災害対応空白地帯が現出しつつある中、今後も建設業の必要性や責務について、国民・社会に対し発信していくことが重要になっております。

また、昨年発生した笹子トンネルの天井板崩落事故で明らかのように、わが国の社会資本の老朽化・劣化が進んでおり、一日も早い維持管理への対応が喫緊の課題となっており、地域建設業の果たすべき役割はさらに大きくなっています。

こうした中、国土交通省が取りまとめた『建設産業の再生と発展のための方策 2011+2012』では、地域維持型契約方式の導入が盛り込まれるなど、地域を支える足腰の強い建設産業の構築や建設産業に多様なニーズ・役割への対応が課題であると提言されました。

このため、本会では、公共事業の必要性、計画的な社会基盤整備はもとより、地域の基幹産業として雇用の維持並びに災害復旧活動等に貢献している建設産業の正しい姿について、国民・社会から正しい理解が得られるよう、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深めるため、戦略的広報活動の推進にも力を入れた事業活動を展開しております。

本事例集は、本会が平成24年度に実施した「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」において顕彰した各建設業協会・支部並びに会員企業が行った優れた社会貢献活動を事例集として取りまとめたものであります。

本事例集が地域建設業界の取り組んでいる社会的責任(CSR)と、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の真摯な社会貢献活動をご理解いただくとともに、欧米諸国に比べて脆弱な我が国の社会基盤の計画的・継続的な整備の必要性を認識いただく一助となれば幸甚であります。

平成25年3月

一般社団法人 全国建設業協会

目 次

1. 建設業の社会貢献活動について	1
2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について	2
(1) 社会貢献活動優秀事例の顕彰と事例集について	2
(2) 中央行事の開催について	2
(3) 功労者表彰	4
3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —	6
3. 1 代表的な活動事例	6
(1) 東日本大震災の復旧・振興活動（東北建設業協会連合会）	6
(2) 桜島火山爆発総合防災訓練（鹿児島県建設業協会鹿児島支部） ..	10
(3) 夕張町における除雪支援活動（伊藤組土建(株)）	10
3. 2 協会・支部等の活動事例	18
(1) 災害復旧支援活動	19
(2) 環境美化活動	28
(3) 建設業ふれあい活動	33
(4) 社会福祉活動	35
(5) 啓蒙活動	38
3. 3 会員企業の活動事例	39
(1) 災害復旧支援活動	40
(2) 環境美化活動	41
(3) 環境保全活動	46
(4) 建設業ふれあい活動	48
(5) 社会福祉活動	50
4. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した活動	52
参考 リーフレット「生活を守り まちをささえる建設業 Vol. 7」（縮小版）. 74 (省略)	

1. 建設業の社会貢献活動について

「企業の社会的責任」(CSR)は、企業活動のプロセスに、経済性や法令遵守にとどまらず環境への配慮や社会的倫理性などを組み込み、様々なステークホルダー(利害関係者)に対する説明責任を果たすことにより、社会から信頼を受け、事業を継続的に発展させようとする活動ですが、近年、このCSRが企業評価の重要な要素となっております。

建設産業は、社会資本の整備を通じ、「国土の保全」、「地域の安全・防災」、「利便性の高い暮らし」等を実現し、社会に貢献してきました。本会傘下の各建設業協会並びに会員企業は、地域の基幹産業である建設業の社会的責任と使命を強く認識し、地域経済の活性化、雇用の確保に貢献するのみならず、国・地方自治体との災害協定に基づき、災害発生時には、住民の安全・安心を確保するため、不眠不休で応急復旧活動に取り組んでおります。

東日本大震災から早くも2年が経過いたしました。地域建設企業は、自らも被災する中、自衛隊や警察の救援活動のさきがけとなり、昼夜を徹して人命救助、被災者の救援、災害復旧に必要な道路の確保・啓開作業に従事するなど、復旧・復興活動にいまなお懸命に取り組んでおります。

そのため、国民の建設業に対する認識が変わりつつあり、わが国の脆弱な国土と自然条件の中で、多くの自然災害が頻発し、また巨大地震の発生が懸念されており、災害時における地域建設業の役割と責務が見直されつつあります。

しかしながら、このような地域建設業界の取り組みは、マスコミ等において報道される機会も少なく、建設業界も積極的なPR活動を行ってこなかったため、国民・社会にあまり知られていない状況にあります。

このため、本会では、平成18年度より毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会と緊密な連携を図りつつ、建設業界として様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

本事例集の巻末には、平成24年に各都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した様々な社会貢献活動事例を記載していますので、ご参照ください。



2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について

(1) 社会貢献活動優秀事例の顕彰と事例集について

本会では、7月の「建設業社会貢献活動推進月間」の活動の一環として、各地域で実践された様々な社会貢献活動について各都道府県建設業協会を通じて広く収集し、優れた活動事例については、全建表彰規程に基づき厳正な審査・選考を経て、この月間中に開催する中央行事において、功労者表彰として顕彰を行っております。

平成24年度は、都道府県建設業協会・支部等を対象とした第3条関係で19事例、会員企業を対象とした第4条関係で21事例の計40事例が選ばれ、浅沼会長名の表彰状と記念品の額が贈呈されました。

本事例集は、本年度の中央行事において受賞された40事例の中から、当日、事例発表を行った東北建設業協会連合会の「東日本大震災の復旧・復興活動」、鹿児島県建設業協会鹿児島支部の「桜島火山爆発総合防災訓練」並びに伊藤組土建株式会社(北海道)の「夕張市における除雪支援活動」の3事例を始め、代表的な活動事例を第3条、第4条別に整理し、①災害復旧・防災支援活動、②建設業ふれあい活動、③環境美化・保全活動、④社会福祉活動等に分類し、紹介するものです。

(2) 中央行事の開催について

本会では、地域の基幹産業として地域経済・雇用等の維持並びに災害復旧活動等に貢献している建設産業の正しい姿について国民・社会からの理解・認識を醸成するため、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定めるとともに、月間期間中に、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を国民・社会に広くアピールするため、毎年、中央行事を開催しておりますが、本年度は7月26日に、東京・経団連会館において、第7回目の中央行事を開催いたしました。

中央行事では、浅沼会長より、「東日本大震災や、豪雨災害等においても、地域を熟知した地元建設業でなければ即時の適切な対応はできない。建設業の重要な役割と魅力を社会に認識してもらうためには、地域のための地道な社会貢献活動を継続していくことが重要である」との開会挨拶に続き、来賓である国土交通省の日原建設流通政策審議官より、「建設業界の災害対応に感謝している。地域建設業の維持・振興は必要である。」との祝辞が述べられた。

続いて、本年度の優れた社会貢献活動功労者の表彰式が行われ、当日、出席された建設業協会・支部、会員企業の受賞者に、浅沼会長より表彰状と記念品が伝達された。

また、受賞者の中から、優れた事例として、①東北建設業協会連合会、②鹿児島県建設業協会鹿児島支部、③伊藤組土建(株)の3事例について事例発表が行われましたが、

参加者からは、建設業ならではの優れた社会貢献活動に大きな関心と惜しみない賛辞がおくられました。

さらに、記念講演として、歴史作家として著名な井沢 元彦先生を講師に迎え、『歴史に学ぶ強い組織づくり』と題する講演会を開催するとともに、記念懇親会では、井沢先生、受賞者を囲み、本会正副会長並びに各都道府県建設業協会会長と国土交通省幹部、関係団体幹部等が終始和やかに歓談し、午後7時過ぎ、盛会裡に散会しました。

本会が実施した本年度の中央行事の内容は、下記のとおりです。

行事名	平成24年度建設業社会貢献活動推進月間中央行事
日時	平成24年7月26日(木) 14:00~19:00
場所	経団連会館4階ダイヤモンドルーム
内容	<p>(1) 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長挨拶 (一社)全国建設業協会会長 浅沼 健一 ・来賓ご挨拶 国土交通省建設流通政策審議官 日原 洋文氏 <p>(2) 建設業社会貢献活動功労者表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ①規定第3条関係(協会・支部等)功労者表彰(19協会・支部) ②規定第4条関係(会員企業)功労者表彰(21社) <p>(3) 建設業社会貢献活動事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「東日本大震災の復旧・復興活動」=東北建設業協会連合会 ②「桜島火山爆発総合防災訓練」=(社)鹿児島県建設業協会鹿児島支部 ③「夕張市における除雪支援活動」=伊藤組土建株式会社 <p>(4) 記念講演会 『歴史に学ぶ強い組織づくり』 講師：作家 井沢 元彦先生</p> <p>(5) 記念懇親会</p>
参加者	約200名(国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関係団体及び一般関係者)



(3) 功労者表彰

「建設業社会貢献活動推進月間」において、次に掲げる協会・支部等（19 団体）及び会員企業（21 社）が、建設業社会貢献活動功労者として表彰されました。

○功労者表彰受賞者 — 協会・支部等（規程第3条関係） —

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧支援活動	(一社)岩手県建設業協会 会長 宇部 貞宏	岩手県
	(社)宮城県建設業協会 会長 佐藤 博俊	宮城県
	(一社)福島県建設業協会 会長 小野 利廣	福島県
	東北建設業協会連合会 会長 佐藤 博俊	東北地方
	(一社)可茂建設業協会	岐阜県
	(社)京都府建設業協会 船井支部	京都府
	(社)奈良県建設業協会 十津川支部	奈良県
防災支援活動	(社)鹿児島県建設業協会 鹿児島支部	鹿児島県
環境美化活動	(社)長野県建設業協会 大北支部	長野県
	(一社)岐阜県建築工業会	岐阜県
	(社)岡山県建設業協会 津山支部	岡山県
	(社)山口県建設業協会 柳井支部	山口県
	(社)高知県建設業協会 南国支部	高知県
建設業ふれあい活動	(一社)岩手県建設業協会 奥州支部青年部会	岩手県
	(社)長崎県建設業協会 対馬支部	長崎県
社会福祉活動	(一社)旭川建設業協会	北海道
	(社)長野県建設業協会 松筑支部	長野県
	(社)杵島建設業協会	佐賀県
啓蒙活動	留萌建設協会 萌志会	北海道

以上 19 協会・支部

○功労者表彰受賞者 — 会員企業（規程第4条関係） —

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
災害復旧支援活動	伊藤組土建(株) (株)カザケン	北海道 岡山県
環境美化活動	市橋建設(株) (株)大坂組 中城建設(株) 丸か建設(株) 秋田土建(株) 白岩土木建築(株) (株)石井組 (株)得能組 木下建設(株) 第一建設(株)	北海道 青森県 宮城県 宮城県 秋田県 山形県 静岡県 富山県 和歌山県 鹿児島県
環境保全活動	(株)中山組 刈屋建設(株)	北海道 岩手県
建設業ふれあい活動	西江建設(株) 三大宝建設(株)	北海道 滋賀県
社会福祉活動	川田工業(株) 石塚建設興業(株) 春山建設(株) (株)柿崎工務所 (株)デーロス	北海道 北海道 宮城県 山形県 滋賀県

以上 21 社

3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —

3. 1 代表的な活動事例

ここでは、平成 24 年度に顕彰した活動事例のうち、代表的なものとして「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」で事例発表された次の 3 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部・企業名等	活動内容
A1-04	東北地方	東北建設業協会連合会	東日本大震災の復旧・復興活動
A6-01	鹿児島県	鹿児島県建設業協会 鹿児島支部	桜島火山爆発総合防災訓練
B1-01	北海道	伊藤組土建(株)	夕張市における除雪支援活動

(1) 東日本大震災の復旧・復興活動（東北建設業協会連合会）

事例 A4-01：東北地方

東日本大震災の復旧・復興活動（東北建設業協会連合会）

2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分、東北地方・三陸沖で、わが国の観測史上最大規模の「東日本大震災」が発生した。マグニチュード 9.0 の大地震は高さ 10m 超という巨大津波を発生させ、南北 500km、東西 200km の広範囲に大きな被害を与えた。さらに、福島県では原子力発電所事故が発生、20km 圏内が立入禁止となった。

これまで経験したことのない未曾有の大災害で、東北地方の沿岸部各地は海岸線が後退し、陸地は構造物が流され、一帯は壊滅的な打撃を被った。



宮城県仙台空港（地震前）



宮城県仙台空港（地震後）



岩手県陸前高田市（地震前）



岩手県陸前高田市（地震後）

東北建設業協会連合会は、平成8年5月に東北地方整備局と「災害応急対策業務に関する協定」を締結しており、各県協会はその協定に基づいて整備局出先機関の要請に応え、道路啓開、緊急パトロール、住民の安全避難、緊急輸送道路の確保等の作業を始め、被災者への炊き出し活動にも協力し、応急復旧工事に尽力した。このような状況の中で連合会は、復旧事業に必要とする燃料や食料の確保を始め、様々な初動対応策の要望を、東北地方整備局並びに関係機関に行った。

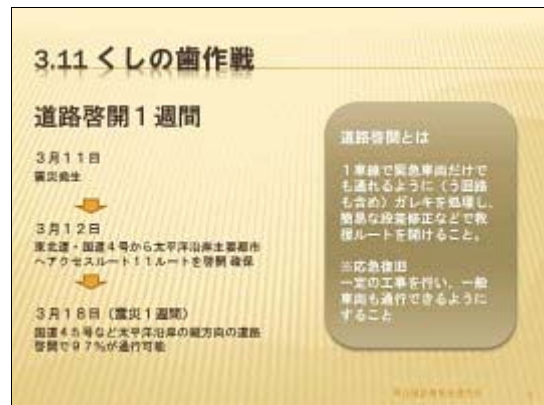
■「くしの歯作戦」の取組み

被災地の一部は道路が寸断され、被害が大きい沿岸部へ到達できない状況となっていた。国土交通省東北地方整備局では発災当日に「くしの歯作戦」を進めることを決断した。くしの歯作戦とは、内陸部で被害の小さかった東北道と国道4号を縦軸とし、縦軸から「くしの歯」のように沿岸部に到達するルートを確認、最後に沿岸道路を南北に通行可能にするものである。

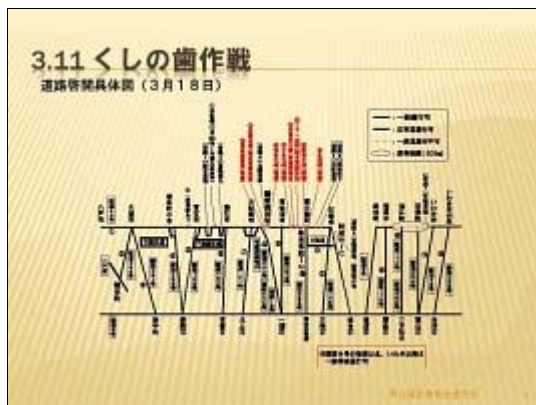
まず第1ステップとして、緊急車両だけでも通れるようにがれきを処理し、簡易な段差修正などで救援ルートを解放する「道路啓開」を、東北道・国道4号の縦軸ラインで確保した。次に第2ステップとして、東北道・国道4号から三陸地区へのアクセスのための横軸ラインを確認した。3月12日には太平洋沿岸主要都市にアクセスする11ルートの東西ルートを確認、14日には14ルート、15日には15ルートが確保され、16日からは一般車両が通行可能となった。最後の第3ステップで、沿岸の縦軸である国道45号と国道6号を確認、発災からわずか1週間後の3月18日には国道45号、国道6号の97%が通行可能になり、迅速な救援活動を実現した。



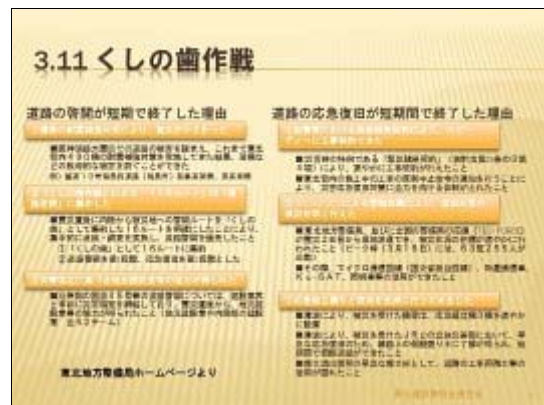
「くしの歯作戦」のステップ



道路啓開一週間



道路啓開具体図



「くしの歯作戦」の成果

■短期間で道路の啓開～応急復旧

世界中が驚くスピードで道路啓開が完了できたのは、震災前の耐震補強対策によって落橋など致命的被害が防がれたことや、くしの歯作戦の成果、災害協定による建設業者の迅速な協力などによるものである。中でも特に、現地に精通したオペレーター等が真っ先に現地に駆け付けたことが、スピーディな初期活動を実現できた最大の要因である。

さらに、災害時の特例として緊急随意契約(会計法第29条の3第4項)により、すみやかに工事契約を行い、東北管内の施工中工事を原則中止して災害応急復旧対策に全力を傾ける体制も整えていた。

また、震災2日目には東北地方整備局や全国の整備局から、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)が駆けつけ、ピーク時には63班255人が出動し、被災状況を迅速に把握することができた。

応急復旧作業は、津波で流された橋梁に代わって応急組立橋3橋を設置したほか、被災したJRとの立体交差部では、線路上での仮設盛土の実施によって短期間で仮設道路を整備でき、迅速な復旧が実現できた。



岩手県宮古市での道路啓開



不明者捜索に協力する会員企業



福島県南相馬市での不明者捜索



宮城県仙台市の道路橋の緊急復旧工事

■地域の建設業の対応

迅速な救援活動を実現した道路の啓開や復旧には、多くの建設業者が参加したが、岩手、宮城、福島の被災3県の建設業協会会員企業も被災していた。

岩手県では、166社のうち60社が被災し、会員の代表者も6人が亡くなった。宮城県でも会員の32.9%が被災し、1人の代表者が亡くなり、従業員も10人の方々が亡くなった。福島県建設業協会では、社屋・事務所の被害が10件あり、相馬の会員会社では従業員4人が死亡・行方不明となった。

会員各社は、被災者でありながら、道路啓開、復旧のほか、不明者捜索などにも尽力した。東北地方整備局が調査したところ地元 71 社のうち 6 割近くの 41 社が国道、13 社が県道、14 社が市道などそれぞれの震災対応作業に当たっている。中でも、9 社は発災当日から作業を着手していた。翌日の 12 日にはさらに 3 割近くの 20 社が着手しており、地元建設業の 4 割以上が発災翌日には復旧作業実施中という状況だった。出勤した建設会社は、地域住民の生命と財産を守るという使命感を持ち、被害施設個所の応急対策活動に従事した。各社は、災害時に備え人員・資機材を確保しており、発災時には最前線に対応できる体制をとっている。

初動の道路啓開作業終了後は、施工中の建設現場における建設機械の流出補償問題を始め、瓦礫処理の諸経費問題、労務費、資機材対策問題等、苦慮する問題が次々と発生した。連合会ではその都度、被災 3 県の意見を調整し、東北地方整備局、国土交通省、政府関係機関等に要望活動を行った。

■地域における建設業の役割

会員企業は「自衛隊より前へ」の精神で救援ルートを切り開き、地域に生き、地域を理解し、地域を愛する技術集団としての役割を全うした。連合会の復旧・復興活動によって、行政機関、地域住民からは改めて地域建設業の必要性・重要性について再認識された。連合会をはじめ東北 6 県建設業協会の献身的な活動に対して、平成 23 年 7 月に国土交通省東北地方整備局長より感謝状が贈られた。

連合会では、災害対応の他にも道路の除雪作業なども実施しており、今後も「地域の町医者」として社会貢献活動に取り組んでいく考えである。



応急仮設住宅



宮城県仙台市での民地のガレキ撤去作業



宮城県石巻市北上川の応急復旧工事



道路の除雪作業

(2) 桜島火山爆発総合防災訓練 (鹿児島県建設業協会鹿児島支部)

事例 A6-01 : 鹿児島県

桜島火山爆発総合防災訓練 (鹿児島県建設業協会鹿児島支部)

鹿児島県建設業協会鹿児島支部は、これまで「こども 110 番」の設置、「環境 ECO 活動」、「鹿児島県との大規模災害・防疫協定」など、多くの社会貢献活動を県内の模範として実施してきている。

鹿児島県内は火山が多く、桜島、霧島を含め現在 8 つの活火山が活動中で、県民生活にも大きな脅威となっている。鹿児島支部では、2012 年 1 月に鹿児島市が実施した桜島爆発総合防災訓練に、支部内の防災システム・体制を見直し参加した。

■ 桜島火山爆発総合防災訓練参加への 3 つのきっかけ

訓練参加のきっかけは三つある。1 番目のきっかけは「東日本大地震へ現地視察」を行ったことである。その結果、各地の災害の規模や現況を把握でき、自治体などの復旧対策、各地の防災体制やシステムについて多くの教訓を得ることができた。2 番目は「北海道帯広市での防災訓練の視察」である。被災地視察から 3 ヶ月後、宮坂建設工業 (株) (北海道帯広市) の防災訓練を視察し、整然とした本部体制の動き、無線連絡体制の充実、住民を巻き込んだ炊飯支援などを目の当たりにした。これらは大変参考となり、後々の鹿児島支部の防災システムの見直しや体制再構築に大変役立った。きっかけの 3 番目は「桜島大爆発への不安」である。新燃岳 (霧島山) と昭和火口 (桜島) という 2 つの火山の活動が活発化したこと。新燃岳は多量の火山灰を宮崎方面にもたらし、霧島山は入山禁止となった。合わせるように桜島も活動が盛んになり、連日爆発回数を更新していたという状況がある。



防災システム見直しの 3 つのきっかけ

■防災システムの見直しと再構築

これらの3つの出来事を契機に、鹿児島支部内でも防災システム・体制に対する様々な意見が出てきた。現在の防災体制・システムが東日本大震災級の「想定外」の災害に対し正常に運用できるのか、という素朴な疑問が根底にあった。そのため支部内では急速に、防災システム・災害体制の見直し、さらに、システムが実際に運用できるかといったシステム検証をすべきであるという機運が高まってきた。

このような状況の中で、2011年10月初旬に同支部の防災システム・体制を再構築し、平成24年1月12日に行われる総合防災訓練へ参加することが決まった。

■防災システム・体制再構築の2つのキーポイント

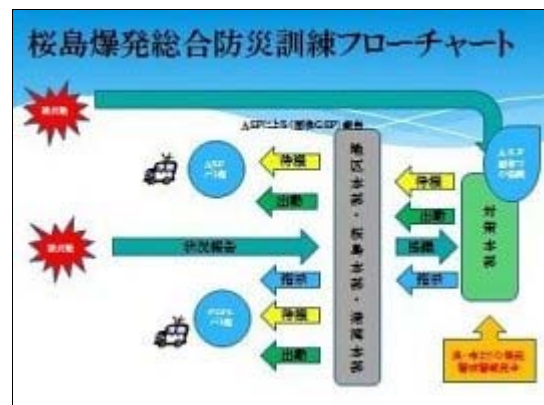
桜島火山爆発総合防災訓練への参加に向けて、鹿児島支部は2つの大きな課題を掲げてシステムの再構築に着手した。1番目の課題は「情報・伝達システムの整備と確保」である。この対応に向けて、視察した宮坂建設工業（株）を参考にデジタル無線を導入した。運用システムにはAPSシステムを導入、GPS機能や画像転送機能等、資材管理システムによる適切な災害対応が可能となった。現在このシステムは、鹿児島県内の多くの支部で導入が決まっている。2番目は「自己完結型の防災システムの構築」である。地震や津波に伴う交通手段の崩壊による地域の孤立、情報伝達システムの遮断による自治体の防災体制の破綻から来る指揮系統の形骸化の問題を解決するためには、災害時に各地域で独自に自立・自存して災害活動ができる体制構築が必要となった。特に、桜島地区では高齢者や要介護者支援の体制作りも急務であったため、特別地区として協議会を設置し対応することとした。



桜島爆発総合訓練へのキーポイント



現状の防災システム



桜島爆発総合防災訓練フローチャート

■桜島爆発総合防災訓練体制の構築

鹿児島支部の桜島爆発総合防災訓練での体制は、課題に対応した2つのキーポイントを中心に構築された。構成は、鹿児島支部管内を4地区と桜島特別地区、さらに港湾協会の協力のもと船舶班を加えた計6班となった。配置人数は、地区ごとの本部機能を持つ総務班（6班12人）、デジタル無線パト班（10班20人）、ASPパト班（13班26人）、さらに海上支援船舶班として船舶班（2班4人）である。災害対策本部には本部長（支部長）以下15人を配置し、合計77人の体制とした。

■桜島爆発総合防災訓練フローチャート

実際の訓練フローチャートでは、まず鹿児島県や鹿児島市から警戒警報、避難警報が発令されると、対策本部から4地区と桜島、港湾本部へ待機命令が出される。その後、各地区本部を通して、それぞれの地区のデジタル班、ASP班へと命令が伝わり出動に備え待機する。

災害の発生やパトロールなどの要請があると、すぐに対策本部から各地区本部へ出動命令が出される。命令は各地区本部を通じて、デジタル班、ASP班へ伝達される。これを受けて直ちに各班は出動し、各被災状況や災害状況を報告する、という手順となっている。



防災訓練の開会式



災害対策本部の様子

■災害訓練当日の支部会員の訓練状況

平成24年1月12日の総合防災訓練当日は、鹿児島側 JR 隣接会場に20人のスタッフが集合し、各班長からデジタル無線班、ASP班への指示が出された。一方の桜島側の赤水みなと公園では、各団体が大規模な訓練のデモンストラレーションを展開した。

陸上では、婦人会や自衛隊の炊飯支援、国土交通省による子供たちへの豪雨体験などがあった。海上では、海上保安部による海難救助訓練、桜島フェリーを使った島民の避難、港湾協会による支援船での救助訓練も行われた。

現場では緊張感が漂う中、整然と訓練が進行していった。各種メディアでも、この日の防災訓練状況は大きく取り上げられ、当日夕方には地元テレビで放映、翌日には地元一般紙に大きく紙面が割かれ紹介された。

防災訓練は無事に終わり、体制の再構築、運用検証ができた。鹿児島支部では、今後も継続して訓練に参加し、さらに前進した形で問題解決に取り組むとともに、建設業の地域での関わりを一層アピールしていきたいと考えている。



防災訓練の紹介記事（鹿児島建設新聞）



災害対策本部 A.S.P. システム班



災害対策本部桜島特別班



災害対策本部港湾班



訓練風景

(3) 夕張市における除雪支援活動（伊藤組土建(株)）

事例 B1-01：北海道

夕張市における除雪支援活動（伊藤組土建(株)）

平成 24 年 1 月～2 月にかけて、空知、石狩地域を中心に、北海道内各地は記録的な大雪に見舞われた。空知地方の南部に位置する夕張市では、最深積雪が例年の 1.5 倍となる 155cm にも達した。この大雪によって、道路幅員の減少やバス・JR の運休等の交通網の混乱、雪の重みによる建築物への被害等、市民生活に大きな影響が発生することとなった。

夕張市に隣接する岩見沢市などでは、交通機関の麻痺や建築物への被害に加えて、雪の落下や除雪中の事故、学校の臨時休校等が発生したため、北海道知事からの災害派遣要請に基づき、陸上自衛隊の災害派遣も行われている。

■活動のきっかけ

伊藤組土建(株)は、明治 26 年の創業以来、北海道に根ざした活動を行っており、この大雪に対しても除雪等の支援活動を実施した。

同社には夕張市出身者や当該地域での工事に従事した者も多く、夕張市が財政難で除雪費を大きく削減している中、多くの市民から除雪の救援を求める声が寄せられている事を知り、このことに共感した社員から、除雪ボランティアの申し出が沸きおこっていた。さらに夕張市町づくり企画室からは、締結している災害時等協力協定に基づき「社会的弱者の優先で、危険性及び緊急性の高いものから対応をお願いする」との要請に応え、除雪支援活動に取り組んだ。



交通網の混乱



家屋の倒壊



自衛隊災害派遣

■高齢者住宅および社会福祉協議会建物の除雪

1月16日以降からの記録的な大雪により、高齢者住宅、高齢者使用施設に倒壊のおそれが発生したため、夕張市では1月18日に除雪支援を要請した。要請に基づき同社では、1月21日に高齢者住宅（2件）と老人福祉会館の建物の除雪奉仕を社員30名、協力会社社員5名の35名で、タイヤショベル、バックホー等の機材と人力によるスコップによって作業を行った。



高齢者住宅（除雪前）



高齢者住宅（除雪後）

高齢者住宅は、雪で窓がふさがれ、日中でも照明が必要な状態で、万が一の時にも家から速やかに避難することができないという危険な状態だった。このため、玄関だけでなく軒下の除雪も行い、その後の降雪に備えて雪はねスペースを確保した。さらに排雪も同時に行い、安心して生活できるように環境を整えた。



高齢者住宅の除雪



老人福祉会館の除雪

老人福社会館の屋根には、豪雪で1m以上の雪がのしかかっていた。参加者は安全に配慮しながら、スノーダンプ等でつぎつぎと雪塊を落としていった。地上ではタイヤショベルとタンパカーで雪を集め、用地の一角に運んでいった。早朝より始まった作業は、夕方になってようやく終了した。

■アディーレ会館（夕張市民会館）の除雪

毎年2月に開催される夕張市最大のイベント「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」は「日本で一番寒くて、あったかい映画祭」と言われ、訪れる人々を魅了している。同社では、2月になっても豪雪が続いていたため、このイベントのメイン会場であるアディーレ会館（夕張市民会館）の除雪奉仕作業を、2月18日に社員30名で実施した。



アディーレ会館（夕張市民会館）の除雪

■災害時緊急避難場所の除雪

夕張市は、市内の公共建物も老朽化が進んだものが多く、夕張市美術館もそのひとつだった。また、市内随所にあった旧小中学校は、統合により現在は廃校となっており、屋根の積雪が1.5～2.0mもある危険な状態となっていた。各地にある旧小中学校の体育館は、災害時の緊急避難場所に指定されており、夕張市より「緊急性の高い公共建物の除雪もお手伝い願いたい」と依頼があった。

しかし2月23日、夕張市美術館の除雪方法についての打ち合わせを予定していた日の早朝に「夕張美術館倒壊事故」が起きた。幸い冬季閉館中だったためけが人は無く、収蔵品も無事だったが、積雪により、かまぼこ形の屋根が崩れ、壁もたわんだり、亀裂が入ったりした。



倒壊した夕張市美術館

美術館の倒壊を受け、緊急避難場所の安全確保が急務となったため、夕張市と協議し災害時緊急避難場所の除雪を実施することとなった。倒壊の恐れが高まる市内の旧小中学校体育館（4箇所）の除雪は、2月27日～3月2日の5日間をかけ社員・協力会社9名で実施した。落雪による除雪中の事故の危険が高いため、ロングアームバックホーを主体とした重機によって安全を確保し作業を行った。



旧千代田中学校体育館



旧夕張中学校体育館



旧幌南中学校体育館



旧夕張小学校体育館

■除雪ボランティアについて

同社の除雪支援活動に対して、地域住民の方からの多数の感謝の言葉とともに、夕張市長より感謝状が贈られた。同社ではこの除雪活動を通じて「高齢化社会の現実と夕張が抱えている問題点などが地域住民の方々との交流のなかで実感できた」との社員の声も聞かれ、これを機会に除雪のみならず、夕張市との協力関係を深めていきたいと考えている。



夕張市長からの感謝状

3. 2 協会・支部等の活動事例

各地の建設業協会や支部・部会は、自然災害の復旧や防災支援を始め、河川・道路清掃や草刈などの環境美化、各種催し等による住民とのふれあい、地域の防犯活動など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

平成 24 年度に顕彰した協会・支部等のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 16 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-01	岩手県	(一社)岩手県建設業協会	東日本大震災復旧・復興活動
A1-02	宮城県	(社)宮城県建設業協会	東日本大震災における復旧支援等活動
A1-03	福島県	(一社)福島県建設業協会	東日本大震災の復旧支援活動
A1-05	岐阜県	(一社)可茂建設業協会	台風 15 号による災害応急復旧活動
A1-06	京都府	(社)京都府建設業協会 船井支部	国道 9 号水原地区の国道遮断災害復旧支援活動
A1-07	奈良県	(社)奈良県建設業協会 十津川支部	紀伊半島大水害災害復旧支援活動
A2-01	長野県	(社)長野県建設業協会 大北支部	国道・県道環境整備事業での草刈ボランティア
A2-02	岐阜県	(一社)岐阜県建築工業会	長良川清掃ボランティア事業
A2-03	岡山県	(社)岡山県建設業協会 津山支部	「道路ふれあい月間」における道路清掃奉仕活動
A2-04	山口県	(社)山口県建設協会 柳井支部	クリーンアップ作戦で地域をきれいに!
A3-01	岩手県	(一社)岩手県建設業協会 奥州支部青年部会	建設業ふれあい事業
A3-02	長崎県	(社)長崎県建設業協会 対馬支部	第 14 回 土木の日 in 対馬 2011
A4-01	北海道	(一社)旭川建設業協会	1 ヶ月早いクリスマス
A4-02	長野県	(社)長野県建設業協会 松筑支部	春季・秋季ふれあい献血活動
A4-03	佐賀県	(社)杵島建設業協会	献血推進活動
A5-01	北海道	(一社)留萌建設協会 萌志会	「小学生への建設業現場見学会」の開催

(1) 災害復旧支援活動

協会及び支部等の災害復旧支援活動として、次の6事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-01	岩手県	(一社)岩手県建設業協会	東日本大震災復旧・復興活動
A1-02	宮城県	(社)宮城県建設業協会	東日本大震災における復旧支援等活動
A1-03	福島県	(一社)福島県建設業協会	東日本大震災の復旧支援活動
A1-05	岐阜県	(一社)可茂建設業協会	台風15号による災害応急復旧活動
A1-06	京都府	(社)京都府建設業協会 船井支部	国道9号水原地区の国道遮断災害復旧支援活動
A1-07	奈良県	(社)奈良県建設業協会 十津川支部	紀伊半島大水害災害復旧支援活動

事例 A1-01 : 岩手県

東日本大震災復旧・復興活動 ((一社)岩手県建設業協会)

東日本大震災は、東日本一帯に甚大な被害をもたらした。岩手県は特に、沿岸部沿いの市街地は壊滅的な状況で、県内全域が停電し、電話が不通となり大混乱となった。災害は、死者・行方不明者が約6千人、家屋の倒壊が2万4千棟を超える大きなものとなった。東日本大震災は、岩手県建設業協会の会員、その従業員などにも多くの犠牲者を出し、会社社屋も流出するなど甚大な被害を与えた。



岩泉小本地区



宮古田老地区



釜石地区



釜石平田地区

■災害対策本部の設置

岩手県建設業協会は、地震当日の3月11日に災害対策本部を立ち上げるとともに、14日には緊急支部長会議を開催し、会員の安否確認、国・県等との密接な連携、沿岸地域への内陸部からの支援等を決めた。さらに、内陸部の会員の資機材保有調査を実施し、国・県に情報提供をした。

余震が続く中で会員は、道路の啓開作業、損壊した道路や橋等の応急工事、がれきの撤去及び応急仮設住宅の整備に当たった。また、内陸部の会員も啓開作業やがれきの撤去、救援物資の搬入などを行った。



ボランティアの土砂撤収作業

■復興への道

岩手県建設業協会は、今後も復興に向けて国・県・市町村等とともに総力をあげて取り組んでいく。今回の災害対応の教訓を踏まえ、燃料や応急資機材の備蓄、通信体制の整備、緊急時の事業継続計画（BCP）の策定などに力を入れていく方針である。今後も引き続き、被災情報の収集や応急・復旧対策の最前線に立ち、地域の住民生活や産業活動を支える社会基盤の整備・維持管理を行う基盤産業として、住民の生命と財産を守っていく考えだ。



大槌町吉里吉里で入浴施設をつくる



青年部会による気仙沼市での給水活動



起機重機船にこいのぼり「がんばれ岩手」

東日本大震災における復旧支援等活動 (社)宮城県建設業協会

東日本大震災の大津波は、宮城県では南三陸町、気仙沼市、石巻市、東松山市、仙台市などの沿岸部を襲い、尊い人命が失われた。宮城県の死者数は約 7 千人、行方不明者約 1 万 6 千人を超えた。震災による被害額は全体で 2 兆円を超えており、宮城県内だけで 6 億 9 千万円を超える莫大なものとなった。

■災害緊急対応への取り組み

宮城県建設業協会では、地震発生後 40 分程で災害対策本部を設置し、支部と連携して緊急対応にあたった。震災当日 22 時には、宮城県震災対策本部から道路被災状況把握の要請があり、翌日早朝 4 時より会員約 200 社で、国道 4 号～沿岸部道路の緊急パトロールを実施した。

震災発生から約 2 週間では、同協会員 252 社のうち東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸部の会員を除いた 213 社 (延べ 2 万 5,996 人) が災害緊急復旧工事の対応にあたった。東北地方整備局、宮城県との災害協定に基づき出動した回数は 906 回にのぼり、物資輸送道路の確保や被災者救援を優先的に進めるため、バックホー 1,028 台、ダンプ 1,941 台を稼働させて作業を行っている。



大津波に襲われた仙台港



女川市市街 2km 四方が津波で壊滅状態



気仙沼港湾での啓開作業



若林区井土地区の道路啓開



津波で分断された県道の緊急復旧

会員企業のなかには、会社が浸水したり、従業員の自宅が津波で流されたりと、自ら被害を受けた者も多かった。こうした状況下でも会員は、地域の安全・安心を支える地元建設業者としての使命感と誇りを持ち、昼夜を問わず24時間体制で、今までに経験をしたことのない様々な震災対応に尽力した。

道路啓開作業終了後は、4月頃まで自衛隊・消防・警察と共同で遺体捜索を実施した。あわせて、一般廃棄物の23年分に相当する規模のがれきの本格的な撤去に向けて、同協会本部・支部が役所との窓口を一本化した。地域住民ともコミュニケーションを図りながら作業を実施し、各地域の道路・宅地のがれき撤去を目標時期よりも早く完了し、地域に安心を提供することができた。

■災害緊急対応への取り組み

ライフラインが遮断され、大津波による落橋やがれきの山で、道路の判断もできない苛酷な状況下で、住民の避難、道路の啓開作業をいち早く実現できたのは「地元の地象、地形、実情を把握している地元建設業者であったからこそ」と高い評価を得ている。この協会組織をあげての献身的な活動に対して、平成23年7月に国土交通省東北地方整備局長より、平成24年2月に宮城県知事より感謝状が贈られた。



国土交通省からの感謝状



自衛隊と協力し遺体を検索



地割れによる庭の沈下



手作業での河川のがれき撤去



若林区新井での農地のがれき撤去作業

東日本大震災の復旧支援活動（(一社)福島県建設業協会）

東日本大震災によって福島県内は、南相馬市、相馬氏、いわき市、新地町などの死者・行方不明者が2千名を数え、住宅被害は、全壊約7千棟、半壊約5千棟、一部損壊は4万棟を超えた。震災当初は一時、東北新幹線をはじめ鉄道各路線、東北自動車道、国道・高速道路・一般道とも広範囲で通行止めになり、電力・水道・電話通信・都市ガスなどのライフラインも寸断された。

■東電福島第一原発の事故

この震災で、双葉町と富岡町に立地している福島第一原子力発電所が、高さ15mもの津波を受けて原子炉の冷却装置が破壊され、大量の放射性物質が拡散される最悪の事故が発生した。原子力安全・保安院は1号機～3号機について4月12日、旧ソビエトで1986年に発生したチェルノブイリ原発事故に匹敵する「レベル7」に相当すると認定した。4月18日には半径20km以内が避難指示、30km以内が屋内待機を指定されるなど、住民が避難を余儀なくされ、現在も故郷に帰れる見通しが立っていない。福島県では、被災により約3万7千人の人口が減少したと発表している。

■災害対策協力本部の設置

福島県建設業協会では、震災発生翌日の3月12日に「東北太平洋沖地震災害対策協力本部」を設置し、災害対応を開始した。直ぐに同協会16支部に対して、協力本部設置の周知を行い、同時に、支部への協力本部の設置、管内の被災状況の把握と災害応急活動等に全面的な協力を依頼した。



いわき市の津波被災



土砂倒壊の復旧現場



がれき処理の様子



行方不明者の捜索

復旧支援活動では、自らも被災した相馬支部や双葉支部の会員が、放射線数値の高い区域内でも県警と協力して行方不明者を捜索したり、がれきの撤去を行った。他の地域でも、インフラ復旧だけでなく、学校をはじめとした公共施設の除染、土砂崩れ等による行方不明者の捜索など、昼夜を問わず復旧に取り組んだ。

■災害対策協力本部の取り組み

災害対策本部では、行政との連絡調整や資機材等の支援要請への対応、被災状況や応急復旧活動状況の把握を行った。

さらに、会員企業が円滑な応急復旧作業にあたるよう、施工中の現場の一時中止措置や工事代金の出来高代金の円滑な支払い、原発事故避難地域の会員企業の支援などについて、国土交通省等、関係機関に対して緊急要望を行った。

6月には「復興事業・原子力発電所事故損害賠償対策室」を設置し、原発事故に伴う会員企業等の損害賠償制度に関する情報の収集及び提供等に協力するとともに、放射線から地域住民が安心して生活できる環境を取り戻すための土壌実証実験にも取り組み、県の除染技術実証事業の選定を受けている。

また、生活再建のための応急仮設住宅に向けて、会員企業及び地元協力業者と連携し早期提供を実現し、平成23年10月に国土交通省より感謝状が贈られた。



国土交通省からの感謝状



応急仮設住宅の建設



仮設住宅の上棟式



学校での表土除染作業



保育園でも表土除染作業を実施

台風 15 号による災害応急復旧活動 (一社)可茂建設業協会

平成 23 年 9 月 13 日に発生した台風 15 号は、21 日 14 時頃には静岡県浜松市に上陸、各地に大きな被害をもたらした。岐阜県内でも各地で河川が氾濫、美濃加茂市では避難勧告が発令された。

可茂建設業協会は、台風 15 号の接近に伴い、20 日 13 時より「災害対策本部」を設置し、緊急時の出動体制を整えた。さらに、白川・唐澤川等の土嚢積等を実施し、被害の拡大防止に努めた。

被災箇所については、岐阜県からの要請を受け、会員の作業員、重機を投入し、緊急対応が必要な道路 5ヶ所、河川 48ヶ所の合計 53ヶ所について災害応急復旧工事を行った。

同協会では、平成 22 年 7 月に発生したゲリラ豪雨の際にも、10 日間にわたって被害の拡大防止、災害応急復旧工事を実施するなど、様々な形

で地域の安全を支えており、平成 23 年 12 月には全国防災協会から災害復旧・防止事業功労者として、団体として唯一表彰されている。他にも、道路清掃や花木の植栽等のボランティア活動を通年実施するなど、地域の安全を守り続けている。



社会貢献の紹介記事 (岐阜新聞)



美濃加茂市の浸水被害



御嵩町の復旧現場



矢戸川 (可児市) の復旧



(社) 全国防災協会からの感謝状

国道 9 号水原地区の国道遮断災害復旧支援活動（(社)京都府建設業協会船井支部）

平成 23 年 6 月 8 日、京都府船井郡丹波町では、大雨の影響で国道 9 号水原地区の法面が崩落し、通行止めとなった。

京都府建築業協会船井支部では、国土交通省近畿地方整備局の協力要請に即時に対応、福知山河川国道事務局と協議し土砂除去を行った。その後、親杭横矢板工法による道路復旧作業を行い、迅速な国道解放を実現した。



夜間の誘導

しかし 9 月 20 日～21 日の大雨によって、再び水原地区が地山ごと動き出し、国道 9 号は道路封鎖により通行止めとなった。9 月 21 日には再度協力要請があり、復旧工事を行った。変位した地山は、親杭板工法だけでは抑えきれないため、押え盛土工法による工事を行った。

国道 9 号は地元の生活道路であり、京都府の基幹道路でもあるため、早期に通行止めから解放することが求められた。そのため、会員企業から作業員延べ 40 人、10t ダンプトラック延べ 60 台、大型重機 4 台、クレーン 1 台、大型土嚢 120 袋等によって、2 昼夜にわたる作業を行い、無事に 9 月 22 日 18 時に通行止めを解除できた。

船井支部の取り組みは住民から感謝され、行政機関からも高い評価を得た。



国道 9 号水原地区の法面崩落現場



土嚢による応急復旧作業



国道 9 号の復旧現場



押え盛土工法による復旧工事

紀伊半島大水害災害復旧支援活動（(社)奈良県建設業協会十津川支部）

平成 23 年 9 月 3 日、高知県東部に上陸した台風 12 号は、奈良県南部地域を中心に広い範囲で記録的な大雨をもたらし、大規模な斜面崩壊を多数発生させた。

この「紀伊半島大水害」は、奈良県内の道路を寸断、集落の孤立、ライフラインの壊滅を引き起こした。十津川村では、死者 4 名、行方不明者 8 名、建物全半壊 13 棟、孤立集落 10 地区と、明治 22 年の大水害に次ぐ被害となった。



国道 168 号の崩壊状況

奈良県建設業協会十津川支部では、災害発生直後から関係機関と連絡を密にとり、情報収集に努めた。十津川村の移動手段は道路しかなく、土砂崩れで寸断された国道 168 号（十津川道路）は「命の道」と呼ばれている。1 日も早い国道 168 号線の復旧、県道・林道の整備が必要だったため、十津川支部では被災の翌日から、道路や河川の土砂、流木等の除去を実施し、ライフラインの回復に全力で取り組んだ。

作業を行った会員の多くも被災者だったが、社会的使命を果たすため、培ったノウハウや高い技術を活かした復旧活動を実施し、村民の生活の確保を図った。

この支援活動は、被災地の早期復旧に大きく貢献し、村民を勇気づけた。



国道 168 号の桑畑路欠



国道 168 号折立橋崩落



十津川村での堆積土砂掘削・積込作業

(2) 環境美化活動

協会及び支部の環境美化活動として、次の4事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A2-01	長野県	(社)長野県建設業協会 大北支部	国道・県道環境整備事業での草刈ボランティア
A2-02	岐阜県	(一社)岐阜県建築工業会	長良川清掃ボランティア事業
A2-03	岡山県	(社)岡山県建設業協会 津山支部	「道路ふれあい月間」における道路清掃奉仕活動
A2-04	山口県	(社)山口県建設協会 柳井支部	クリーンアップ作戦で地域をきれいに!

国道・県道環境整備事業での草刈ボランティア（(社)長野県建設業協会大北支部）

長野県建設業協会大北支部では毎年、建設業社会貢献活動推進月間行事として草刈ボランティアを実施している。本事業は、大町建設事務所管内の国道 148 号及び県道 3 路線の草刈りを行うもので、大北支部に属する企業 31 社が参加し環境整備を行うものである。

大北支部の環境美化活動は、昭和 45 年に国道及び県道の汚泥清掃を行ったことからスタートした。その後、昭和 50 年代にはスパイクタイヤによる粉じん処理を行っていたが、スタッドレスタイヤになり粉じんが減ったことにより、平成 3 年からは道路の草刈りを行っている。

平成 23 年は 7 月 7 日に実施し、会員 64 名、事務所職員 16 名の総勢 80 名によって、約 34km の道路の草刈りを行った。

大北支部の環境美化活動は、31 年にわたって継続されており、平成 24 年 6 月には国道・県道総延べ 34km の環境整備を続けてきた努力が認められ「豊かな環境づくり大北地域会議」より表彰された。大北支部では今後も継続して、地域の環境美化活動に率先して取り組んでいく方針である。



草刈機による除草



草刈ボランティアの様子

長良川清掃ボランティア事業（（一社）岐阜県建築工業会）

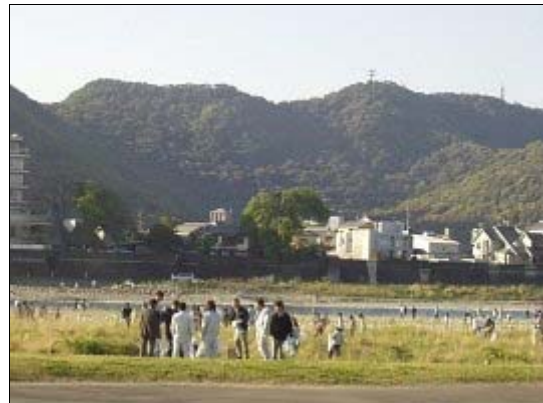
岐阜県建築工業会では、地域へのボランティアの一環として、清掃活動を実施している。同会では、平成 17 年度までは金華山の清掃活動を実施、平成 18 年度からは岐阜新聞・岐阜放送が主催する「長良川を美しくしよう運動」に参加し、岐阜県を代表する河川である長良川の美化活動に取り組んでいる。

長良川の本大震災の影響で 1 回が中止となり合計 2 回の清掃活動の実施となったが、4 月 29 日には会員企業 28 社、従業員等 233 人が参加した。2 回目の 10 月 23 日には会員企業 25 社、従業員等 164 人が参加し、河川敷や堤防などの清掃を行いながら地域住民との交流を深めた。

岐阜県建築工業会では、この活動を毎年の恒例行事として実施しており、建設業の社会貢献活動へのアピールや建設業の理解を深める機会として、今後も継続して取り組んでいくこととしている。



長良川清掃活動現場



清掃活動の様子



長良川を美しくしよう運動の参加者

「道路ふれあい月間」における道路清掃奉仕活動（(社)岡山県建設業協会津山支部）

岡山県津山市は、古くから美作国津山藩の城下町として栄え、また出雲街道の宿場町として街道沿いには商家が建ち並び、商業の盛んな地域であった。現在でも当時の遺構や古い街並みが残り、街並み保存地区には当時から続く老舗が営業している、人口 10 万余を有する県北の中心都市である。

岡山県建設業協会津山支部では、この城下町のメイン通りを快適な空間として保全するため、地元津山市役所と連携して、平成 9 年から毎月 8 月の「道路ふれあい月間」に道路清掃奉仕活動を実施している。

第 22 回目となる平成 23 年 8 月 23 日には、市内幹線道路の城西通り～わかば通り、鶴山通り等、約 16km にわたる道路の清掃を行った。活動には、地元町内会や企業・団体からのボランティア等が参加し、合計約 1,650 人によって一斉に道路清掃が行われた。津山支部からは、支部所有の道路清掃車（スイーパー）1 台、会員保有のトラック 2 台を出動させ、ゴミ収集、小石等の除去作業を終日実施し、地域の環境美化と同時に、地域住民との交流を深めた。

この取り組みは、津山市の広報誌「広報つやま」の中で道路清掃車の写真とともに協会の協力が紹介されるなど、地域で高く評価されている。津山支部では今後も、企業と団体が一体となった社会貢献活動の一環として継続し、道路清掃を通じて、道路の大切さや道路の環境美化意識の向上を図り、建設業のイメージアップに取り組んでいく方針である。



支部所有の道路清掃車（スイーパー）



津山市広報誌で紹介



清掃活動の様子

クリーンアップ作戦で地域をきれいに！ ((社)山口県建設協会柳井支部)

山口県建設協会柳井支部では、「青建会」のメンバーが中心となり「環境美化活動」を行っている。青建会は、30年前に柳井地域にある建設業者の2代目など20名程で発足したグループで、当初は、各地のダムや高速道路、トンネルなどの建設現場見学や、勉強会を通じて知識・見識を広めるための活動を行っていた。

環境美化活動は、平成9年に田布施の河川公園清掃からスタートし、協会員等が参加する恒例行事となっている。平成21年からは、山口県から「公的機関以外が主催する地域活動」として認められており、柳井支部が実施要項を定め、毎年8月10日の「道の日」に実施している。

平成23年の清掃活動には、会員企業32社、約40名が参加、午後5時30分から1時間半にわたり国道188号線と市道の歩道でゴミ収集を行った。今回は延べ6kmの区間で実施したが、ゴミの量は意外に少なかった。その理由の一つには、これまでの活動の成果によって地域の環境美化への意識が高まったことが挙げられる。

この清掃活動は現在では、毎年の恒例行事として認知度も上がっており、県の職員と合同で行う地域貢献活動の一環として、広く市民から支持されている。さらに近年では、年に数回、定例的に清掃活動を行う会社や、毎月のように所在地近くで清掃活動を行う会社もあるなど、協会員企業の中でも地域貢献の意識が高まってきている。柳井支部では、今後はさらに清掃活動の輪を広げていきたいと考えており、現在、清掃作業のエリアや路線を変えて、より広いエリアで地域貢献を行う計画を進めている。



クリーンアップ作戦の様子



クリーンアップ作戦の参加者

(3) 建設業ふれあい活動

協会及び支部の建設業ふれあい活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A3-01	岩手県	(一社)岩手県建設業協会 奥州支部青年部会	建設業ふれあい事業
A3-02	長崎県	(社)長崎県建設業協会 対馬支部	第14回 土木の日 in 対馬 2011

事例 A3-01 : 岩手県

建設業ふれあい事業 (一社)岩手県建設業協会奥州支部青年部会)

岩手県建設業協会奥州支部青年部会は、平成9年度から現在まで、奥州市水沢産業まつり実行委員会が主催する「奥州市水沢産業まつり」会場内で、一般市民を対象とした「建設業ふれあい事業」を継続して開催している。

青年部会ではこの活動を通して、将来を担う子どもたちが建設業を理解し、魅力を感じてもらい建設業への意識付けと、一般市民への地域における建設業の役割や貢献活動の様子をPRしている。

平成23年度は10月15日～16日に開催され、青年部会23名によって、バックホーと高所作業車による建設機械試乗体験、風船の配布、高所作業車からの大もちまき大会などが行われた。

今回の産業まつりでの、建設業ふれあい事業ブース来訪者と建設機械試乗者は、延べ500人を超える盛況となった。



高所作業車の市場体験



バックホーの試乗体験



高所作業車からの大もちまき大会

第14回 土木の日 in 対馬 2011 ((社)長崎県建設業協会対馬支部)

長崎県建設業協会対馬支部では、一般の方々に「土木」を身近に感じてもらい、「土木」が地域社会に果たしている役割を理解してもらうため、長崎県対馬振興局、津島市、津島建設業協同組合青年部と共催で「土木の日 in 対馬」を開催している。

このイベントは毎年11月18日の「土木の日」に開催され、子どもから大人まで、見て、聴いて、触って、体感できるものとなっている。

イベント内容は多岐にわたり、ダムや空港の見学、土木関連事業に関するパネル展、土木のお仕事クイズ、保育園・幼稚園児の絵画コンクール展示会、重機へのオペレーター試乗などがある。ほかにも、チーム出場の綱引き大会、フリーマーケットや紅白もちまき大会もあり盛り沢山である。

参加者が紙ボールを投げて、予想距離と実測値との差で順位を決める「測量体験距離当てクイズ」も人気のコーナーの一つで、賑やかなイベントとなっている。

対馬支部では、楽しんでもらいながら土木を感じて欲しいとの思いから、平成10年の初回開催より今回の14回目まで、毎年取り組みを続けている。



「土木の日」パンフレット



重機へのオペレーター試乗



綱引き大会



焼き鳥や綿菓子も手作り



土木関連事業のパネル展

(4) 社会福祉活動

協会及び支部の社会福祉活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A4-01	北海道	(一社)旭川建設業協会	1ヶ月早いクリスマス
A4-02	長野県	(社)長野県建設業協会 松筑支部	春季・秋季ふれあい献血活動
A4-03	佐賀県	(社)杵島建設業協会	献血推進活動

事例 A4-01 : 北海道県

1ヶ月早いクリスマス ((一社)旭川建設業協会)

旭川建設業協会では、「二世会」が旭川市内の児童養護施設に訪問し、子どもたちにプレゼントを贈る「1ヶ月早いクリスマス」を演出している。

この取り組みは、昭和40年から毎年継続され、今回で46回が実施されているもので、子どもたちは毎年サンタクロースの来訪を心待ちにする養護施設の伝統行事になっている。

今回は児童養護施設「旭川育児院」に、二世会の会長ほか3~4名の会員が訪問した。会員の一人はサンタクロースの衣装に身を包み、文房具屋おもちゃ、ゲームソフトなど、子どもたちが事前に希望したクリスマスプレゼントを贈った。あわせてイチゴのクリスマスケーキも用意して、院児と楽しい半日を過ごし、子どもたちは一足早いクリスマスを満喫した。

旭川建設業協会二世会では、毎年子どもたちが目をキラキラさせながら楽しみにしている様子を見て、今後も継続していきたいと考えている。



活動を紹介した新聞記事 (北海道新聞)



旭川育児院でのクリスマス会の様子

春季・秋季ふれあい献血活動（(社)長野県建設業協会松筑支部）

長野県建設業協会松筑支部では、献血活動を地域社会への奉仕活動の一環として位置付け、平成11年度から毎年実施している。高齢化が著しい長野県での献血用血液の自給体制に協力するため、平成17年度からは春、秋の年2回、実施している。

この献血活動は、松筑支部の青年会が中心となって、会員企業の社員や近隣住民、行政機関の職員等に献血を呼びかけて実施しているもので、毎回100名を超える献血協力がある。特に400mLの献血者は全体の9割を超える状況であり、長野県赤十字血液センターからも高く評価されている。



献血の様子

松筑支部は、12年にわたりこの活動を支えてきており、平成23年11月に実施

した第20回目の献血活動では、累計献血者数が2,000人を突破した。松筑支部では記念として、2,000人目の献血者とその前後賞2名を加えた3名を表彰し、さらなる献血活動を呼びかけた。

松筑支部では、今後も「ふれあい献血活動」を継続し、活動を通じて地域社会に信頼される建設業界を目指していく考えである。



移動車両での献血



献血実施2,000人目の表彰式（前後賞を加え3名を表彰）

献血推進活動（社）杵島建設業協会

杵島建設業協会では毎年、佐賀県赤十字血液センターの協力のもと、献血活動を実施している。この活動は例年、協会員全社（25社）と協力会社から多くの協力があり、平成23年には100人以上が参加するなど地域に定着した活動となっている。

平成12年から行っているこの献血活動は、県内の建設業協会の中で最初に始められた活動で、社会貢献活動は会員自らが自主的に行うものとの考えから、企画・運営は会員で構成する企画委員会で行われている。献血参加者へのプレゼントやくじ引きなどは、企画委員がアイデアを出し合って決めている。

杵島建設業協会では、早くから積極的に地域貢献活動を続けてきており、これまで道路やカーブミラーの清掃、ゴミ拾い、献血運動等、幅広く活動してきている。協会役員や会員各社も積極的に協力、参加しており、今後もこれらの活動をバランス良く、継続して行っていく方針である。

献血のお知らせ

日時 / 10月18日(火)
AM 9:00 ~ 11:30
PM 13:00 ~ 15:30

会場 / (社)杵島建設業協会様

●献血は、健康・多岐にわたります。
●献血は、健康・多岐にわたります。
●献血は、健康・多岐にわたります。

いのちをむすぶ、支えあい。

●献血回数クラブ登録のお願い

安全な血液を安定的に患者さんのもとへお届けするため
・献血の継続がある方で、年間2回（連続しては1回）以上献血してください。
・献血回数クラブに登録することで、献血の継続を促すことができます。
・献血回数で400ml増分が贈られます。

※献血回数クラブの登録は、献血回数クラブに登録してください。

献血回数クラブ会員登録！ 佐賀県赤十字血液センター

献血の協力を呼びかける案内



献血の様子

(5) 啓蒙活動

協会及び支部の啓蒙活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A5-01	北海道	(一社)留萌建設協会 萌志会	「小学生への建設業現場見学会」の開催

事例 A5-01 : 北海道

「小学生への建設業現場見学会」の開催（(一社)留萌建設協会萌志会）

留萌建設協会の二世会である「萌志会」では、地域での建設業の役割を小学校の児童にも身近に感じてもらうため、出前講座を行っている。「生活を守り、まちをささえる建設業」と題された講座は、児童のそれぞれが現場見学会や測量体験を通して、建設業の仕事内容や目的について学ぶ内容となっている。

今回の出前講座は、萌志会のメンバー15人が、小学校6年生のクラスを訪問して行われた。測量体験では、校庭のピッチャーマウンドの高さや距離を、測量器具を用いて測ったり、GPSで学校の位地を測定するなど、現場で行う作業の一端を体験した。児童たちは、ミリ単位で高さが測れることに驚き、感想文では「建設業に興味が出た」等、建設業界への理解が深まった様子である。

留萌建設協会では、今後も継続して建設業のイメージアップに取り組んでいく。



教室で出前講座



工事現場での説明



建設機械の操作体験



工事現場の見学

3. 3 会員企業の活動事例

各地の建設業協会の会員企業は、地域の安全・安心確保を最優先に考えて、災害時には先頭に立って復旧活動に従事するとともに、日頃から地域の環境美化・保全活動や、建設業ふれあい活動、社会福祉活動などにも積極的に取り組んでいます。これらの活動は、地元企業ならではの工夫により、住民にもたいへん喜ばれ、建設業のイメージアップにつながっています。

平成 24 年度に顕彰した会員企業のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 12 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-02	岡山県	(株)カザケン	台風 12 号災害応急復旧活動
B2-01	青森県	(株)大坂組	地下歩道清掃活動
B2-02	宮城県	丸か建設(株)	スマイルロード・サポーター
B2-03	山形県	白岩土木建設(株)	公園地(白山神社)除草作業による環境美化活動
B2-04	富山県	得能組(株)	チューリップ街道実行委員会の環境美化活動
B2-05	和歌山県	木下建設(株)	一万人大掃除と海岸清掃活動
B3-01	北海道	(株)中山組	「緑の募金活動」で地球環境の保全に貢献
B3-02	岩手県	刈屋建設(株)	環境保全活動への取り組み
B4-01	北海道	西江建設(株)	十勝川イカダ下り
B4-02	滋賀県	三大宝建設(株)	チャレンジウィーク
B5-01	北海道	石塚建設興業(株)	施設の窓ガラス清掃奉仕活動
B5-02	山形県	(株)柿崎工務所	高齢者等世帯に対する除排雪ボランティア

(1) 災害復旧支援活動

会員企業の災害復旧支援活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-02	岡山県	(株)カザケン	台風12号災害応急復旧活動

事例 B1-02 : 岡山県

台風12号災害応急復旧活動 ((株)カザケン)

平成23年9月3日～4日未明にかけて中四国地方を襲った台風12号は、瀬戸内沿岸に大きな被害をもたらし、岡山県を13年ぶりに直撃した台風は、記録的な雨量を観測し、家屋の浸水被害や避難勧告の発令等、市民生活に大きな影響を与えた。

県内の小田川では、本流である一級河川高梁川の水位上昇に伴って氾濫が懸念された。そのため9月3日には、(株)カザケンに国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所から大型土嚢運搬の出動要請があった。同社ではすぐに、待機していた大型車両5台で土嚢運搬・設置作業を実施し、氾濫の未然防止を図った。また、小田川付近にある畑の液状化箇所でも土嚢による応急復旧作業を実施するなど、厳しい作業環境のもとでの的確な応急対策を行った。さらに道路冠水の状況についても、2名4班体制で迅速に確認するなど、災害の拡大や二次災害の防止に貢献し、平成24年2月には国土交通省中国地方整備局長より感謝状が贈られた。



土嚢の仮置き



土砂流出防止土嚢積



応急対策箇所土嚢撤去状況



国土交通省からの感謝状

(2) 環境美化活動

会員企業の環境美化活動として、次の5事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B2-01	青森県	(株)大坂組	地下歩道清掃活動
B2-02	宮城県	丸か建設(株)	スマイルロード・サポーター
B2-03	山形県	白岩土木建設(株)	公園地(白山神社)除草作業による環境美化活動
B2-04	富山県	得能組(株)	チューリップ街道実行委員会の環境美化活動
B2-05	和歌山県	木下建設(株)	一万人大掃除と海岸清掃活動

事例 B2-01：青森県

地下歩道清掃活動 ((株)大坂組)

(株)大坂組では、地域の環境美化活動の一環として、平成11年より毎月1回、土曜日に地下歩道3箇所で行っている。

清掃活動には、役員、社員をはじめ、グループ企業も参加し、ゴミ拾いや水洗い清掃を実施している。冬季には雪かきなども行い、近隣小中学校の通学路の安全を確保している。

清掃開始当初は、ゴミやたばこの吸い殻などのポイ捨てが多かったが、最近ではそのようなゴミは減ってきており、同社のこれまでの地道な活動が、地域住民の環境意識の改善に繋がってきている様子が伺える。

平成14年には、国土交通省東北整備局青森河川国道事務所と「ボランティア・サポート・プログラム協定」を締結し、これまで以上に責任ある活動として取り組んでいる。この活動は青森河川国道事務所のホームページでも紹介されており、平成16年には青森河川国道事務局長より感謝状が贈られた。



地下道の清掃活動



冬季の雪かき作業



水洗い作業

スマイルロード・サポーター（丸か建設（株））

丸か建設（株）では、平成 19 年より加美地区の地域貢献活動の一環として、歩道 900m 及び緑地帯 2 ヶ所の清掃植栽のボランティア活動を開始した。

この活動は、平成 20 年 7 月には宮城県北部土木事務所から「スマイルロード・サポーター」の認定を受けており、現在まで継続して毎年実施してきている。

また、平成 22 年 6 月には大崎市三本木地区の歩道 500m、植栽 1 ヶ所の清掃活動を行い、大崎三本木営業所から認定を受けており、現在まで活動を継続している。

これらのボランティア活動は、毎月第三土曜日を活動日として、年 6～8 回、平均 20 名の参加者で実施している。

活動の一環として 5 月には、大崎市三本木地区の緑地帯 480 m²にマリーゴールド 1,500 本、ペゴニア 700 本を植栽している。他の月には歩道のゴミ収集、草刈りや路肩の刈払い等を実施、冬季には歩道の除雪作業も行っている。

同社は、宮城県加美郡加美町の入口となる場所を美しく保ち、来町者に良いイメージを持ってもらえるよう、今後も活動を継続していく方針である。



加美地区の路肩刈払い



加美地区での緑地帯植栽



加美地区の歩道除雪



大崎三本木地区での緑地帯植栽



大崎三本木地区の歩道清掃と草刈り

公園地（白山神社）除草作業による環境美化活動（白岩土木建設（株））

（株）白岩土木建設は、地元の金山町内にある白山神社公園地の広大な敷地の整備と除草作業を会社全体で取り組み、地域の環境美化に努めている。

活動のきっかけは、同社社長の「公園地のそばで働いている者としてこの場所を大切にしてもらいたい」との思いからで、「国民安全の日」である7月1日に同社の安全大会の開催に先立って行われている。今回は約60名が参加し、膝まで伸びていた雑草がきれいに刈り取られ、わずか1時間ほどで見違えるほどきれいになった。

また、地元の小学生や父兄に対して、冬期間の除雪に対する理解と通学時の安全確保のため、「除雪機械試乗体験及び交通安全教室」を継続して開催している。この活動は、冬の交通事故を防ぐための交通講話の後、除雪車に関する説明を聞き、乗車体験で実際に簡単な操縦を試してみるもので、地元小学生の交通事故防止に役立っている。



金山町羽場地区からの感謝状

この2つの事業は、地域の住民から頼りにされると同時に、建設業界のイメージアップにもつながっており、同社の永年にわたる地域貢献に対して、金山町的場地区長より感謝状が贈られている。



公園地（白山神社）の除草作業



除雪機械試乗体験の様子

チューリップ街道実行委員会の環境美化活動（得能組(株)）

富山県砺波市は、チューリップの球根生産量が日本一の「花の町」である。ここに本社をおく得能組(株)は、砺波市内の国道156号線沿線を中心に、花と緑が満ち溢れる街道をつくる環境美化活動に取り組んでいる。

この活動は、「となみチューリップフェア」に訪れる観光客を花で歓迎するために平成5年から始められた事業で、国道156号線沿いの事業所などで構成される「となみチューリップ街道実行委員会」によって実施されている。発足当初に同社社長が実行委員として参加して以降、同社は、企業として活動の中心・中核となって活動を支えてきている。

活動は、秋にチューリップの球根やパンジーの花をプランターに植え込むことから始まり、春には「となみチューリップフェア」の開催にあわせて国道156号線沿いの歩道約2.5kmにプランターを並べ、花で彩っていくものである。同社からは毎年延べ20名程が参加している。

作業中に出たゴミはもちろんのこと、付近のゴミなども回収し景観保全に努めており、平成19年には国土交通省北陸地方整備局長から実行委員会に対して感謝状が贈られた。また、同社へも平成21年に実行委員会から感謝状が贈られている。



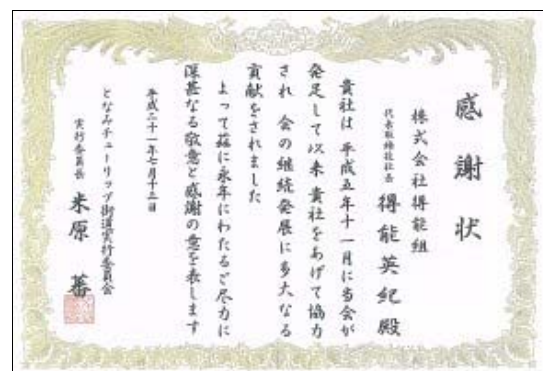
国道を彩るプランター



歩道にプランターを設置



国土交通省からの感謝状



実行委員会からの感謝状

一万人大掃除と海岸清掃活動（木下建設（株））

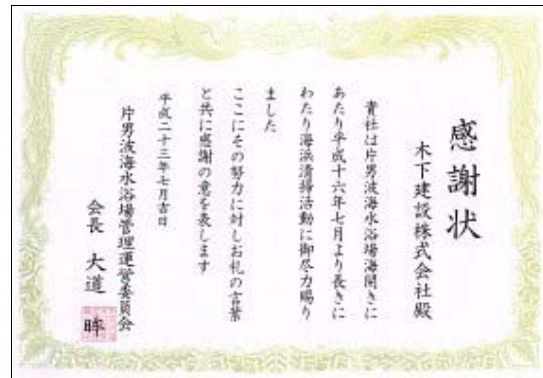
木下建設（株）は、大正 12 年に創業された地域に根付いた歴史のある企業で、これまで様々な貢献活動に取り組んでいる。

和歌山市が美化推進事業の一環として実施している「一万人大掃除」には、同社が和歌山市建設業協会会長として陣頭指揮に立ち、多くの会員企業が参加するなど、事業推進の原動力となっている。

また、和歌山市和歌浦地区に所在する企業であることから、平成 16 年から毎年、片男波海水浴場の遊泳者の安全を図るため、海開きに合わせて社員総出による海浜の清掃を行っている。平成 23 年には片男波海水浴場管理運営委員会から感謝状が贈られている。

さらに、和歌山市主催の総合防災訓練に積極的に参加し、防災意識の向上、県民の安全・安心の確保に努めている。

その他、近畿大学付属和歌山高等学校・中学校のグラウンドでは、道路整備に実績のある同社保有の機械を駆使して整地作業を行い、これまで人力で整地していた学校関係者、生徒たちから、とても感謝されている。



海水浴場管理運営委員会からの感謝状



片男波海水浴場海浜清掃の様子



「一万人大掃除」への参加



高校・中学校のグラウンド整地作業



(3) 環境保全活動

会員企業の環境保全活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B3-01	北海道	(株)中山組	「緑の募金活動」で地球環境の保全に貢献
B3-02	岩手県	刈屋建設(株)	環境保全活動への取り組み

事例 B3-01：北海道

「緑の募金活動」で地球環境の保全に貢献（(株)中山組）

(株)中山組では、3年前に若手社員より「全社で取り組む社会貢献活動を検討してはどうか」という意見が出されたことをきっかけに、地球環境の保全活動として「緑の募金活動」に取り組んでいる。

この活動は、①各地の工事事業所等に「緑の募金箱」を設置し、関係取引先等に募金の協力を願う、②全社員が使う名刺に「国土緑化推進ロゴマークとスローガン」を印刷、1枚使う毎に1円を募金する、③各事業所に緑の募金を組み合わせた自動販売機を設置し1本1円を募金する、といった3点で構成されている。

あるマンションの大規模修繕工事では同社の社会貢献の取り組みが管理組合に理解されて、マンションエントランスに「緑の募金箱」を設置した。その結果、多くの住民からの協力があつた。

活動は3年目を迎えており、募金額は年間約35万円と僅かではあるが、社員だけでなく関係取引先へも地球環境保全の意識付けになるという効果があつた。平成23年には緑の募金活動を推進する国土緑化推進機構から感謝状が贈られた。

募金の一部は、東日本大震災による被災地の復興支援にも活用されることから、同社では、今後も一層活動を充実させていきたいと考えている。



(社)国土緑化推進機構からの感謝状



「緑の募金」街頭募金活動の様子



マンション修繕工事で「緑の募金箱」を設置

環境保全活動への取り組み（刈屋建設(株)）

刈屋建設(株)では、これまで様々な環境保全活動に取り組んでいる。

平成23年9月12日～13日の2日間、茂市地区にある刈屋川の清掃及び支流からの堆積土砂除去する河川清掃活動を実施している。平成23年10月28日には、「平成23年度 宮古クリーンセンター作戦」（建設業協会宮古支部及び岩手県宮古土木センター主催）に参加し、閉伊川河川公園内の除草作業を行った。平成23年10月29日には、姉吉漁港から鮎山までの歩道整備、清掃と草刈機による除草を行っている。

さらに、広域廃棄物受入先啓蒙活動支援として視察や取材への協力や、バイオディーゼル燃料（BDF）利用拡大実験にも参加、温暖化対策にも取り組み、多岐にわたる活動で環境保全に努めている。



刈谷川の支流からの堆積土砂除去



閉伊川河川公園の除草作業



遊歩道の整備



歩道整備と清掃活動



広域ガレキ処理の作業状況



BDF（バイオディーゼル）利用拡大実験

(4) 建設業ふれあい活動

会員企業の建設業ふれあい活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B4-01	北海道	西江建設(株)	十勝川イカダ下り
B4-02	滋賀県	三大宝建設(株)	チャレンジウィーク

事例 B4-01：北海道

十勝川イカダ下り (西江建設(株))

十勝川は十勝平野の中心部を流れ、上流は上川郡新得町の十勝岳に始まり、下流は中川郡豊頃町の太平洋にそそぐ一級河川で、十勝地方を代表する河川である。

十勝川イカダ下りは、川に触れ合い親しむ機会を作ることを目的に、昭和48年に有志が呼び掛け合い始まった。各参加者が自作したイカダに乗って帯広市のすずらん大橋をスタート、音更町の十勝中央大橋に至る約10.3kmを下る、39回を数えるイベントである。

西江建設(株)では、平成9年に社員数名が十勝川イカダ下り実行委員会に参加し、以後、中心的な存在となってイベントを牽引してきた。また、イベント当日には、十数名がボランティアとして参加するなど、運営sについても会社をあげて協力している。

十勝川イカダ下りは、帯広を始め、十勝管内町村からも多くの住民が参加する大きなイベントに成長している。今では100艇を超える自作イカダと1,000人を超える参加者で盛り上がる、十勝を代表する夏の風物詩になっている。



十勝川イカダ下りパンフレット



十勝川イカダ下り開催の様子

チャレンジウィーク（三大宝建設（株））

三大宝建設（株）では、次世代を担う若者である栗東市内の中学生を対象に、環境意識を深めてもらうことを目的に職場勤労体験学習（チャレンジウィーク）の体験事業所として生徒の受け入れをしている。

チャレンジウィークは滋賀県教育委員会が「総合的な学習」の一環として行うもので、中学2年生が5日間の職場体験をする取り組み。同社では、平成17年度より生徒の受入態勢を整え、再生路盤材の生産工程の体験学習を実施してきている。これまで7年間の活動で25名の生徒が体験学習を終え、学校からは環境問題に有意義な学習として高く評価されている。

同社は、こうした活動の取り組みを通じて建設業の啓蒙とイメージアップを図るとともに、将来を担う子供たちに地球温暖化防止への関心をもってもらうため、今後も引き続き活動していく考えである。



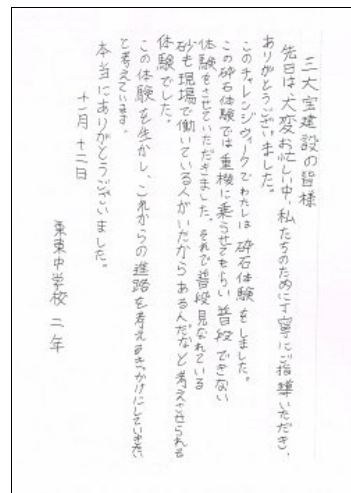
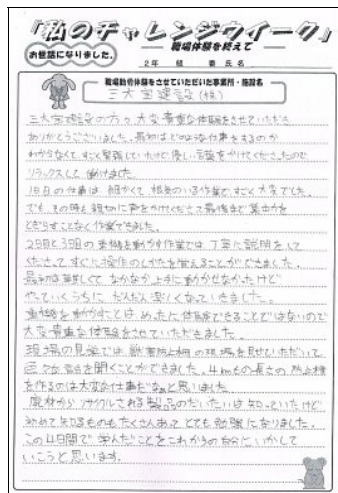
チャレンジウィークのパンフレット



チャレンジウィークの概要



実施体制



参加した中学生からの感謝状



(5) 社会福祉活動

会員企業の社会福祉活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B5-01	北海道	石塚建設興業(株)	施設の窓ガラス清掃奉仕活動
B5-02	山形県	(株)柿崎工務所	高齢者等世帯に対する除排雪ボランティア

事例 B5-01 : 北海道

施設の窓ガラス清掃奉仕活動 (石塚建設興業(株))

石塚建設興業(株)では、社員親睦団体「宗友会」が平成19年から稚内市内の知的障害者施設の窓ガラス清掃を実施している。宗友会では昭和58年から、知的障害者施設の稚内緑ヶ丘学園と稚内はまなす学園に、雪と氷の滑り台を製作し、寄贈してきていた。その後、施設利用者が高齢化したため、平成19年からは雪解け後の窓ガラス清掃に変更して継続実施してきている。

平成23年度は、5月21日(月)に清掃用具を手にした会員25人が作業に取り組み、施設利用者が快適に過ごせるように窓を磨き上げた。

宗友会ではこの清掃奉仕活動の他にも、国道の歩道のゴミ拾い、雑草除去や道立宗谷ふれあい公園内の集景地周辺の環境整備、地元漁港による河川流域での植樹活動等にも参加し、積極的に社会貢献活動を行っている。



知的障害者施設の窓ガラス清掃作業



ふれあい公園の清掃



歩道の除草作業

高齢者等世帯に対する除排雪ボランティア（株）柿崎工務所

（株）柿崎工務所では、平成 18 年から新庄市社会福祉協議会が実施する高齢者世帯等除雪支援事業に参加している。この除雪支援事業は、自力での除雪が困難な高齢者世帯等の住宅の屋根の雪下ろしや軒先の除排雪をボランティアで実施するものである。

同社では、例年参加する企業が少ない中、毎年継続して参加しており、平成 23 年までの 6 年間で延べ 48 世帯の除排雪を実施した。

この活動の様子は、新庄市社会福祉協議会の「社協だより」にも掲載された。また、平成 22 年 3 月には協議会より感謝状が贈られ、山形新聞に紹介された。

同社では、建設業界のイメージアップにもつながるこの活動を継続し、今後も社会貢献していく考えである。



「社協だより」の掲載記事



高齢者世帯の住宅の除排雪作業



屋根の雪下ろし



新庄市社会福祉協議会からの感謝状

4. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した活動

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
北海道	交通事故防止街頭啓発（春季） （札幌建設業協会）	6月29日	札幌市中央区北1条、北2条西5丁目付近の道路	業界120人、 協会5人、 自治体5人
	高校生の現場見学会 （札幌建設業協会）	7月11日	道営住宅工事	生徒74人、 教師6人、 協会3人
	高校生の現場見学会 （札幌建設業協会）	9月7日	シューパロ発電所 建設事業（夕張市）	生徒76人、 教師4人、 協会4人
	交通事故防止街頭啓発（秋季） （札幌建設業協会）	10月9日	札幌市中央区北2条西5～6丁目付近の道路	業界120人、 協会5人、 自治体5人、 自治体5人
	平成24年度道路クリーン作戦 （小樽建設協会）	5月16日	余市町、共和町、 黒松内町、倶知安町	業界240人、 自治体55人
	室蘭港鉄人舟漕ぎ大会 （室蘭建設業協会）	7月15日	室蘭港	業界不明、 一般400人
	第4回 苫小牧ハスカップボートレース （室蘭建設業協会）	8月11日	苫小牧港	業界不明、 一般300人
	高校生の建設工事現場見学会 （室蘭建設業協会）	10月11日、 10月30日	日高地区、胆振地区各4箇所の工事現場	生徒・教師90人、 協会6人
	地域再生フォーラムⅦ （空知建設業協会）	11月8日	まるみーる岩見沢市文化センター中ホール	業界292人、 一般52人、 自治体36人
	クリーンアップ日本海 （留萌建設協会）	5月30日	留萌市海岸	業界90人、 一般220人、 自治体400人
	流雪溝投雪ボランティア （旭川建設業協会）	2月18日	流雪溝沿いの国道・道道・市道の高齢者世帯と空き家の前の歩道	企業95人、 協会15人、 旭川市71人
	高校生の建設工事現場見学会 （旭川建設業協会）	9月7日	旭川市末広小学校A・B工区増改築工事、旭川市中心市街地団地1-A・B工区新築工事	生徒37人、 教師3人、 協会5人
	高校生の建設工事現場見学会 （旭川建設業協会）	9月21日	富良野上川線特定交付金工事、忠別ダム	生徒37人、 教諭4人、 協会8人
	路線バスで交通安全の用語を車内で放送（旭川建設業協会）	1月1日～ 12月31日	当協会近く（6条6丁目）のバス停、1日に旭川電気軌道及び道北バス440台の降車前のバスの車中で放送	旭川電気軌道及び道北バス利用者

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	旭川育児院 1ヶ月早いクリスマス（旭川建設業協会）	11月20日	社会福祉法人旭川育児院	院児71人、職員33人、協会6人
	ボルネオ緑の回廊・野生生物レスキューセンター設立プロジェクト支援の飲料水自販機の設置（旭川建設業協会）	1月1日～12月31日		
	東十勝ロングトレイルモニターツアー（帯広建設業協会）	2月4日、3月17日、3月24日、5月26日、6月10日、10月20日、11月10日	豊頃町及び浦幌町周辺地域	業界14人、一般217人
	交通安全グッズを寄贈（帯広建設業協会）	3月26日	帯広市教育委員会学校教育課	業界2人、自治体2人
	帯広市社会福祉協議会等への寄付（帯広建設業協会）	6月14日	帯広市社会福祉協議会	業界2人、自治体2人
	建設現場見学会（帯広建設業協会）	9月14日	音更町左岸豊田9号地先災害復旧（音更町）ほか	業界7人、一般80人
	建設現場見学会（帯広建設業協会）	10月18日	足寄中学校校舎改築建築主体工事	業界5人、一般67人
	第23回まちづくりジュニア現地学習会（帯広建設業協会）	9月27日	帯広広尾自動車道南2線改良工事ほか	業界16人、一般81人
	工藤公康スポーツ講演会「諦めない心」（釧路建設業協会）	8月5日	釧路市観光国際交流センター	業界10人、一般300人
	少年野球教室（釧路建設業協会）	8月6日	釧路市鳥取ドーム	業界15人、一般100人
青森県	事業所・施工現場周辺の一斉清掃	7月28日	県内一円	業界1,609人
岩手県	現場見学会の実施	通年	東北横断自動車道、盛岡地区環境護岸工事ほか	県内高校土木系6校、建築系2校、参加生徒292人
宮城県	献血推進活動	7月27日、30日	登米建設会館（27日）、仙南建設会館（30日）	参加総数月間95人、年間713人
	全国建設青年の日、清掃活動	7月30日	宮城スタジアム付近の県道等	業界64人
福島県	道路ふれあい月間 道路美化奉仕活動	4月～11月	県内各地	業界2,570人
	特別講演会「東日本大震災」の対応について」	3月16日	ホテルハマツ	参加総数220人
	「東日本大震災レポート」の発刊、無料配布	5月～		総数3,000部

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
茨城県	①高校生等の建設現場実習、 ②高校生等の建設現場見学会	7月4日～ 27日	①実習～県内会 員各事業所 ②見学会～県内 工事現場	一般①5校91人、 ②1校35人、 業界50人、 自治体3人
	中学生体験学習会（ウッディハウ ス建設事業）	11月1日～ 12月10日	行方市立麻生中 学校	業界15人、 中学生87人
栃木県	クリーンアップ事業	1月、3月、 5月、7月、 9月、11月	真岡市田町地内国 道294号及び県道 西小埜真岡線及び 一級河川五行川を 含む道路延長 1,100m区間、河川 延長1,500mの区間	業界30人、 参加総数60人
	総合学習支援福祉体験学習 （芳賀支部）	11月13日	真岡市立真岡小学 校	業界8人、 一般8人、 自治体3人、 参加129人
	高校生インターンシップ推進事業 （芳賀支部）	11月5日～ 9日	建設業芳賀支部会 員企業の施工現場	業界26社、 参加総数56人
	栃木県魅力ある建設事業推進協議 会（芳賀支部）	11月28日	道路改良工事（宇 都宮茂木線・祖母 井BP）ほか1、 1万人プール改修 （真岡市下籠谷）	業界12人、 一般177人、 高校生39人、 教師3人
	安政遠足前夜祭（安中支部）	5月12日	安中市文化センタ ー	業界22人
群馬県	碓氷湖まつり（安中支部）	7月16日	坂本ダム（碓氷 湖）、安中市松井田 町坂本	業界10人
	伊勢崎市花火大会後の清掃作業 （伊勢崎支部）	9月30日	伊勢崎市西部公園	業界66人
	保育園砂入れボランティア （伊勢崎支部）	11月21日	伊勢崎市新栄町	業界11人
	館林・邑楽の川大掃除（館林支部）	11月19日	館林市、邑楽郡一 円の河川及び河川 敷、堤防	業界54人、 自治体19人
	第58回桐生市掘マラソン大会事 前清掃（桐生支部）	2月12日	桐生市	業界49人
	第49回桐生八木節祭り後の清掃 （桐生支部）	8月6日	桐生市	業界52人
	広域幼稚園・保育園への砂入れ事 業（桐生支部）	11月7日	桐生市・みどり市	業界11人
	平成24年度（第25回）道路クリー ン作戦	5月30日	県下一斉 （拠点地区：前橋）	業界1818人、 自治体約30人
	まえばし道路フェア2012 （前橋支部）	8月19日	前橋敷島公園バラ 園 駐車場	業界50人
	第5回公園クリーン作戦 （前橋支部）	10月22日	前橋公園	業界63人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
埼玉県	平成 24 年度幼稚園内砂場の砂補充作業（太田支部）	6 月 8 日、 11 月 8 日	太田市内	業界 18 人
	災害復旧用応急組立橋架設講習会の実施	11 月 14 日	三橋総合公園（さいたま市西区）	業界 40 人、 一般 10 人、 自治体 30 人
	平成 24 年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練に伴う訓練参加協力	11 月 29 日	陸上自衛隊朝霞訓練場	業界 15 人
	春の清掃活動	5 月 26 日	東松山駅周辺の県道東松山駅停車場線外	業界 25 人、 自治体 25 人
	第 9 回 ふれあい市野川クリーンアップ作戦	11 月 10 日	吉見百穴前、市野川河川敷	業界 30 人、 一般 650 人、 自治体 70 人
	工事中のトンネルを探検してみよう	11 月 18 日	国道 140 号皆野秩父バイパスのトンネル工事現場	業界 20 人、 一般 230 人
	あっぱれ！熊谷流「ふるさとの森」第 7 回植樹祭	9 月 30 日	熊谷さくら運動公園多目的広場	業界 18 人
	水と緑のふれあいロード清掃・点検	11 月 22 日	水と緑のふれあいロード	業界 35 人、 自治体 16 人
	黒目川・秋の川まつり（朝霞支部）	11 月 11 日	朝霞県土整備事務所	業界 10 人
	新河岸川放水路・びん沼川環境浄化運動（川越支部）	6 月 24 日	新河岸川放水路・びん沼川	業界 180 人、 一般 300 人、 自治体 50 人
	道路環境美化作業（北埼玉支部）	11 月 29 日	国道 125 号 BP（行田市小見南交差点～総合公園前交差点）	業界 21 人
千葉県	松戸花火大会イン 2012 会場清掃活動（東葛支部）	8 月 5 日	江戸川河川敷周辺（松戸市）	参加総数 65 人
	野田市山崎松ノ二地先清掃・除草活動（東葛支部）	5 月 18 日	野田市山崎松ノ二地先（野田市）	参加総数 35 名
	国道 128 号線長生村区間沿道及び周辺地域清掃活動（長生村）（長生支部）	1 月 20 日	国道 128 号線長生村区間沿道及び周辺	参加総数 69 名
	富津下洲海岸清掃（君津支部）	6 月 25 日	富津下洲海岸（富津市）	参加総数 105 名
	管内道路・河川・海岸一斉清掃活動（館山支部）	7 月 11 日	館山支部管内（館山市、南房総市、鋸南町）	参加総数 127 名
	国道 297 号バイパス清掃活動（市原支部）	7 月 14 日	国道 297 号バイパス市原インター～三又（市原市）	参加総数 45 名
	三軒屋海岸・夷隅川河口周辺清掃活動（いすみ支部）	7 月 10 日	夷隅川河口河川敷（いすみ市）	参加総数 37 名
	九十九里浜清掃活動（山武支部）	6 月 12 日	九十九里浜（九十九里町）	参加総数 135 名

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	大網白里中央海岸清掃活動（大網白里町）（山武支部）	6月27日	大網白里中央海岸（大網白里町）	参加総数 133名
	「いなげの浜」清掃活動（千葉支部）	7月7日	いなげの浜（千葉市稲毛区）	参加総数 589名
	前原横渚海岸清掃（鴨川支部）	5月25日	前原横渚海岸（鴨川市）	参加総数 43名
	合同水防訓練会場清掃活動（香取市）（香取支部）	6月28日	黒部川左岸周辺（香取市）	参加総数 100名
	舞浜護岸ボランティア清掃（京葉支部）	5月12日	舞浜高潮堤防護岸（浦安市）	参加総数 67名
	北総支部管内一斉清掃（北総支部）	6月27日	成田及び印旛土木事務所管内（成田市、印西市、佐倉市）	参加総数 46名
東京都	まちづくり展 2012～東京をつくる・まもる・建設業～	9月26日～28日	新宿駅西口広場イベントコーナー	業界 2,000人、一般 9,600人、自治体 400人
神奈川県	海抜「見える化」ステッカー設置（神奈川支部）	2月3日、4月21日	鎌倉市内 500箇所	業界 24社 30人、自治体 6人
	県管理施設の安全点検パトロール（伊勢原建設業協会）	6月29日	県道 11路線	業界 9社 10人
	草刈りボランティア（伊勢原建設業協会）	7月26日	道路法面 18箇所	業界 95人
	平成 24 年度伊勢原市総合防災訓練（伊勢原建設業協会）	8月26日	比々多小学校及び周辺	業界 43人、一般 890人、自治体 70人
	第 45 回伊勢原観光道灌まつり（伊勢原建設業協会）	10月13日、14日	おまつり広場	業界 100人、一般 500人
	市緊急輸送点検パトロール（伊勢原建設業協会）	8月6日、11月28日	市道 19路線	業界 10人
新潟県	土木の日記念フェスティバル（新発田支部）	11月23日		業界 33人、一般 8000人
	クリーン作戦（村上支部）	9月7日		
	土木の日体験学習（新津支部）	11月2日		
	新潟支部、新潟市建設業協会合同講演会（新潟支部）	9月27日		業界 94人
	ほくりく水土里プロジェクト（巻支部）	11月3日		参加 150人、会員 29人
	クリーン作戦（津川支部）	4月27日		会員 17人
	つがわの狐の嫁入り行列開催に伴う水上ステージ設置（津川支部）	5月2日～4日		観光客 20,000人
	環境美化運動（三条支部）	5月13日		業界 9人、一般 200人
	あじさい ACTION IN 田上町護摩堂山（三条支部）	6月24日		業界 5人、一般 160人
	三条スポーツゴミ拾い大会（三条支部）	10月14日		業界 6人、一般 150人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	土木フェスティバル（長岡支部）	10月21日		会員40人、 一般6,664人
	親しもう！ふれ合おう！建設業！ （与板支部）	11月3日		会員12人
	土木フェア（魚沼支部）	10月28日		会員22人
	環境美化活動（魚沼支部）	通年		
	十日町雪まつり雪上カーニバル舞 台制作（十日町支部）	1月23日～ 24日		業界31人、 一般30,000人
	産業フェスタ どぼくの日 （十日町支部）	10月20日 ～ 21日		会員31人、 一般16,500人
	インターハイ自転車競技ボランテ ィア（六日町支部）	7月29日		会員23人
	地域貢献広報活動（六日町支部）	9月25日、 10月1日	①南魚沼市、 ②湯沢町	会員4人
	クリーン作戦（六日町支部）	9月27日	魚野川河川敷	会員40人、 一般6,664人
	八色の森市民まつり「土木フェア」 （六日町支部）	10月14日		会員18人、 一般1400人
	かしかり虹まつり「土木PR事業」 （柏崎支部）			会員10人、 一般15,000人
	ぎおん柏崎まつり「海の大花火大 会」花火打上げ事業（柏崎支部）	7月26日		
	大島駅伝大会運営ボランティア （安塚支部）	7月8日		会員7人
	牧っこ秋まつり 運営ボランティ ア（安塚支部）	11月3日		業界7人
	うらがわらまつり（安塚支部）	8月4日		一般2,000人
	万内川砂防公園 サマーフェステ ィバル（上越支部）	8月11日		一般1500人
	海岸清掃（糸魚川支部）	7月5日	押上海岸、大和川 海岸	業界22人、 一般38人
	日本海クラシックカーレビュー （糸魚川支部）	9月2日		業界8人、 一般25,000人
	桜の害虫駆除対策（糸魚川支部）	3月22日		業界22人、 一般9人
	ゲームで土木業に親しむ （糸魚川支部）		糸魚川市立今井小 学校	生徒12人、 会員13人
	佐渡整備振興会支援事業 （佐渡支部）			会員5人、 一般39人
	一日美化デー（佐渡支部）	8月24日	佐和田地区、羽茂 地区海岸	業界5人、 一般35人
	佐渡市スポーツ振興財団 （佐渡支部）	通年		
長野県	クリーンキャンペーン （南佐久支部）	11月16日	国道141号佐久市 伊勢宮交差点から 山梨県境まで	業界27人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	秋季河川一斉パトロール (佐久市部)	11月1日	南北佐久郡下河川	業界6人、 参加総数53人
	丸子修学館高等学校生徒の丁張 実習技術指導(上小支部)	6月5日	丸子修学館高等学校	業界14人、 生徒17人
	上田千曲高等学校建築科生徒の 工事現場見学会(上小支部)	5月31日	東御市役所改築現場	業界1人、 生徒32人、 教師2人、 関係機関5人
	丸子修学館高等学校生徒の企業 研修(上小支部)	11月5日	平成24年度24災 公共土木施工災害 復旧・県単道路橋 梁維持合冊工事、 上回市立長小学校 屋内運動場耐震補 強工事ほか(計6 現場)	業界16人、 生徒41人
	第17回建設旗争奪「上小中学校1 年生野球大会」(上小支部)	11月3日～ 11月4日	東御市中央公園グ ラウンド、東御市 立東部中学校	業界10人、 生徒350人、 教師・一般200 人
	上田千曲高等学校生徒の工事現 場見学会(上小支部)	10月30日	滋野保育園建築工 事(東御市)、上田 市立清明小学校屋 内運動場建築工事	業界7人、 生徒27人、 教師2人、 関係機関5人
	道路・歩道清掃活動(諏訪支部)	4月26日、 11月8日	長野県茅野市内、 諏訪市豊田地域	①業界98人(茅 野市分会22人) ②業界46人(諏 訪市分会16人)
	献血奉仕活動(諏訪支部)	6月5日、 7日、12日	長野県赤十字献血 センター諏訪出張 所	業界34人
	諏訪湖アダプトプログラム活動 (諏訪支部)	6月30日、 8月31日、 11月9日	諏訪湖畔	業界①6人、 ②6人、 ③7人
	道路クリーン作戦(伊那支部)	6月15日	上伊那管内全域	業界300人、 自治体93人
	田沢川河川清掃、国道153号伊南 BPごみ拾い(伊那支部)	7月24日	田沢川、田の坂付 近及び国道153号 伊南BP(駒ヶ根市)	業界63人、 自治体8人
	献血事業(飯田支部)	6月29日、 11月9日	飯田建設会館、下 條村村民センター	参加総数169人
	河川アダプトプログラム、河川美 化活動(飯田支部)	5月26日、 7月24日、 9月22日	松川左岸200m	業界①11人、 ②10人、 ③12人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	飯田長姫高等学校土木科・建築科 現場研修会（飯田支部）	11月15日	飯田市松川ダム再 開発事業、飯田市 羽場大瀬木線新松 川大橋上部工、慈 光松尾保育園新築 工事、飯田市立病 院拡張工事	業界2人、 一般84人、 自治体1人
	長野県管理道路方面清掃ボラン ティア（木曾支部）	8月28日、 10月24日	①（北部）県道木 曾福島(T)線木曾 町塩湊、(南部)国 道256号南木曾町 妻籠 ②県道鳥居本町線 木曾町鳥居	①業界31人、 自治体3人 ②業界13人、 自治体3人
	伊那・木曾連絡道路沿線美化活動 プラン（木曾支部）	10月2日	国道361号木曾町 19号支点から塩尻 市権兵衛トンネル 木曾側抗口	業界15人、 自治体25人
	平成24年度春季ふれあい献血活 動（松筑支部）	5月11日	(株)松筑建設会館	業界110人、 一般3人
	道路クリーンキャンペーン活動 （松筑支部）	7月27日	主要地方道路：松 本環状高家線、松 本市芳川付近1.2 kmの両側	業界50人、 自治体15人
	平成24年度秋季ふれあい献血活 動（松筑支部）	11月16日	(株)松筑建設会館	業界97人、 自治体4人
	クリーンアップ安曇野 （安曇野支部）	6月19日	安曇野市堀金、 国営公園入り口 600m間	業界34人、 自治体25人
	一級河川農具川環境整備（草刈） （大北支部）	7月3日	一級河川農具川両 岸1.9km、国道148 号、県道3路線 34km	業界67人、 自治体16人
	一級河川乳川アレチウリの駆除 （大北支部）	9月5日	一級河川北安曇野 郡松川村神戸橋～ 矢地橋2km	業界34人、 自治体14人
	千曲市第6回みんなで育てる協働 の森づくり（植樹）、みんなで育 てる「協働の森づくり・森林文化 体験学習会」（育樹）、第5回大池 市民の森感謝祭（更埴支部）	5月12日、 10月13日	大池市民の森（千 曲市八幡）	業界17人
	春の道路一斉清掃（須坂支部）	4月19日	国道406号線	業界15社、 自治体20人
	信州ふるさとふれあい事業 （中高支部）	4月2日～ 11月7日	中野市七瀬地区 国道403号線	業界97人、 一般27人、 自治体46人
	第15回「建設で献血だ！」 （長野支部）	4月3日	長水建設会館	業界71人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	春のゴミゼロ運動（長野支部）	5月25日	裾花川左岸 長野保健所～裾花橋	業界24人
	建設業美化事業ボランティア（長野支部）	7月12日	県道・市町村道25ヶ所（支部管内）	業界25社
	第7回けんせつ杯中学生軟式野球大会（長野支部）	10月6日、7日	豊野東山第一運動場、豊野東山第二運動場、長野信金グラウンド、青垣公園グラウンド、邦友グラウンド	業界11人、一般約700人
	秋のゴミゼロ運動（長野支部）	10月19日	裾花川左岸 長野保健所～裾花橋	業界23人
	第16回「建設で献血だ！」（長野支部）	11月14日	長水建設会館	業界68人
	平成24年度フラワーロード事業（飯山支部）	6月11日、7月2日、7月23日、8月10日、8月27日	国道117号線沿いバイパス	業界16人、一般1,400人、自治体100人
岐阜県	道路清掃（岐阜土木工業会）	9月28日、10月12日	岐阜市、羽島市	業界150人
	清掃活動（岐阜県西濃建設業協会）	9月20日、22日	海津市、養老郡養老町、安八郡安八町	業界94人
	交通誘導（揖斐建設業協会）	10月5日～8日	揖斐郡池田町	業界28人
	地域清掃（美濃建設業協会）	9月24日	関市	業界35人
	地域清掃（郡上建設業協会）	6月30日	郡上市	業界44人
	地域清掃（高山建設業協会）	9月28日	高山市	業界75人
	国体のぼり旗630本の作成、設置のための草刈作業等（吉城建設業協会）	6月～10月の間、随時	飛騨市、両山市	業界335人
静岡県	道路クリーン作戦（下田建設業協会）	8月24日	下田市及び賀茂郡の主要幹線道路	業界122人
	「道の日」道路点検・清掃活動	8月10日	市内繁華街を中心としたその周辺部	業界100人、自治体300人
	巴川清掃奉仕活動	6月12日	巴川（流通大橋～静清バイパス間、約500m）	業界87人
	協会社会奉仕活動「献血」運動	6月12日、11月8日	静岡建設業協会駐車場	業界延べ156人、一般2人
	親子現場見学会	7月28日	津波防御施設沼津港大型水門「びゅうお」、新東名高速道路ネオパーサ駿河湾沼津SA	業界5人、一般59人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	高校生現場実習	7月30日～ 8月1日、 8月28日～ 31日	会員企業の各現場	業界11社、 一般34人
	下田地区一斉美化運動等 (下田建設業協会)	9月27日	下田市及び賀茂郡 の国県市町の道路	業界122人
	平成24年度「河川愛護月間」奉仕 活動(富士建設業協会)	7月19日	富士市、富士宮市 内	業界72人
	平成24年度「道路ふれあい月間」 奉仕活動(富士建設業協会)	8月10日	富士市、富士宮市 内	業界71人
	親子現場見学会(富士建設業協会)	8月25日	(株)富士環境保全公 社最終処分場	業界10人、 一般40人
	「小さな親切運動」静岡県本部清 掃活動(清水建設業協会)	5月12日	興津川	業界300人、 一般600人
	「小さな親切運動」静岡県本部清 掃活動(清水建設業協会)	9月8日	三保海岸	
	「小さな親切運動」静岡県本部清 掃活動(清水建設業協会)	11月23日	興津川	
	道路美化運動清掃活動 (清水建設業協会)	8月2日	清水区中心街さつ き通り	業界70人
	親子現場見学会(清水建設業協会)	8月24日	清水港新興津港建 設現場付近	業界10人、 一般30人
	高校生現場実習(清水建設業協会)	8月28日～ 31日	会員企業の各現場	業界4社、 生徒数11人
	地域あんしん住まい応援隊 (清水建設業協会)	9月14日	清水区	業界28人、 民生児童委員50 人
	道路愛護運動(島田建設業協会)	7月5日～ 8月31日	島田建設業協会管 内の国・県・市・ 町道	業界459人
	台風4号(6/19)及び台風17号 (9/30)における応急復旧活動 (島田建設業協会)	6月19日～ 27日、 9月30日～ 10月1日	当協会全域(焼津 市、藤枝市、島田 市、牧之原市、川 根本町、吉田町)	業界(4号)287 人、 (17号)61人
	高校生インターンシップ (島田建設業協会)	7月30日～ 8月1日	当協会会員企業各 社	業界3社、 一般8人
	親子現場見学会 (島田建設業協会)	8月8日	中部電力浜岡原子 力館(静岡県御前 崎市)	業界6人、 一般41人
	交通安全運動(春・夏・秋・年末) (島田建設業協会)	5月、7月、 9月、12月	島田建設業協会管 内	業界770人 (4,7,9月の3回)
	道路愛護運動(袋井建設業協会)	7月4日～ 8月23日	袋井建設業協会管 内の県道、市町村 道	業界248人
	河川美化運動(袋井建設業協会)	7月13日～ 8月4日	袋井建設業協会管 内の河川	業界192人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	親子現場見学会（袋井建設業協会）	8月9日	掛川市・袋井市新病院「中東遠総合医療センター」建設現場	業界17人、 一般40人
	協会員による献血運動（袋井建設業協会）	10月3日	袋井建設業協会	業界41人、 一般3人
	道路、河川等除草・清掃（浜松建設業協会）	8月3日	市内道路・河川細江浜北線、権現谷川、馬込川、安間川、中ノ島（弁天島）	業界86人
	親子現場見学会（浜松建設業協会）	10月27日	中央浅田幹線築造工事現場（浜松市中区瓜内町）	業界30人、 一般70人
	静岡県西遠地区合同訓練（浜松建設業協会）	12月6日	浜松市災害対策本部（情報収集・伝達訓練）、天竜川河川敷（道路啓開訓練）	業界30人、 自治体50人
	道路愛護・環境美化活動（天竜建設業協会）	8月2日	浜松市天竜区内の主な国・県道沿線	業界61人
	親子現場見学会（天竜建設業協会）	8月2日	新東名高速道路建設現場（新城市）	業界3人、 一般27人
	親子現場見学会（三島建設業協会）	8月18日	南本牧ふ頭高規格コンテナターミナル整備（横浜市）	業界2人、 一般81人
	高校生現場実習（三島建設業協会）	8月20日～24日	会員企業の各現場	業界10社、 一般33人
	親子現場見学会（沼津建設業協会）	8月21日	富士山静岡空港、県営吉田公園	業界17人、 一般156人
	高校生現場実習（沼津建設業協会）	11月1日～2日	会員企業の各現場	業界24社、 一般69人
	献血（沼津建設業協会）	3月6日	沼津市役所	業界74人
	献血（沼津建設業協会）	7月18日	沼津建設業協会駐車場	業界64人
	広報誌の発行（沼津建設業協会）	1月、4月、7月、10月	沼津建設業協会	
愛知県	「あったらいいな！！土のうで浸水から守ろう」運動	12月13日	県立守山高等学校校庭（名古屋市）	生徒180人、 教職員若干名、 協会員10社20名
三重県	氏郷まつり	9月2日	松坂市内	業界10人
	愛宕川・神道川一斉清掃デー	9月2日	松坂市内	業界10人
	平成24年度道路美化ボランティア活動	9月4日	四日市市羽津・大矢知・中村・広永・智積町、菰野町、朝日町、川越町	業界83人
	河川愛護月間に伴う員弁川河川清掃	7月20日	桑名市～いなべ市藤原町の員弁川堤防・河川敷	業界78人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	道路美化ボランティア活動	9月12日	伊賀市、名張市、管内一円	業界60人
	第1回道路清掃美化ボランティア活動	7月13日	県道松阪青山線津市美杉町八手俣地区	業界34人
	第2回道路清掃美化ボランティア活動	10月17日	県道白山小津線津市白山町関の宮～津市一志町波瀬地区	業界34人
	雲出伊倉津地区河川・海岸美化清掃（津支部）	7月8日	津市雲出伊倉津町雲出河川河口付近	業界20人、一般30人、自治体80人
	三重県・鈴鹿市総合防災訓練（鈴鹿支部）	9月2日	三重県消防学校	業界13人
	ふれあいの道事業（鈴鹿支部）	6月1日、9月7日、11月2日	鈴鹿環状線（中央道路）1.2km	業界32人
	土のう作成と保管場所一斉点検作業（鈴鹿支部）	6月29日	鈴鹿市防災センター	業界80人、自治体40人
	ふれあいの道清掃奉仕作業（亀山支部）	7月27日、9月28日	亀山支内	業界33人
	第1回 清掃美化ボランティア活動（志摩支部）	10月6日	一般国道260号	業界20人
	第2回 清掃美化ボランティア活動（志摩支部）	11月24日	一般国道260号（阿児～大王）	業界20人
	地域ボランティア活動（伊勢支部）	7月1日、12月8日	伊勢市勢田川及び桧尻川、宇治地区、五十鈴川河川敷、各地域	業界90人
	赤羽川右岸河川敷除草作業（尾鷲支部）	6月21日	国道42号線新長島橋付近の赤羽川河川敷周辺	業界35人
	地元行事『紀北七夕祭り』会場設営作業（尾鷲支部）	7月7日、8日	紀北町海山区便の山、銚子川護岸	業界11人、一般40人
	道路美化ボランティア活動（尾鷲支部）	7月13日	紀北町海山区内県道	業界30人
	地元行事『おわせ港まつり』前日の清掃作業（尾鷲支部）	8月1日	尾鷲市尾鷲港一帯	業界65人、一般65人、自治体20人
富山県	「全国建設青年の日事業」合同開催	7月～		
	小矢部市内県道市道周辺清掃活動（小矢部支部）	7月26日	小矢部市	青年部22名、土木事務所5名、小矢部市3名
	字奈月谷親水公園周辺の草刈り・伐採・清掃（入善支部）	7月26日	黒部市	青年部17名、土木事務所12名、黒部市3名
	高岡古城公園圏清掃活動（高岡支部）	7月26日	高岡市	青年部ほか200名

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	大岩川親水公園の草刈り、清掃、稚魚放流等（立山支部）	7月27日	上市町	青年部19名、児童8名
	滑川海岸清掃活動（魚津支部）	7月27日	滑川市	青年部21名
	国道415号沿いカーブミラーの清掃（氷見支部）	7月27日	氷見市	青年部31名
	若手経営者向け講習会「建設業の方向性と10年後に生き残る対応」（砺波支部）	7月30日	砺波市	青年部40名
	天湖森除草・清掃活動（富山支部）	9月15日	富山市	青年部ほか66名
石川県	「全国建設青年の日」のPR活動	7月22日	石川県金沢市	業界14人、一般450人
	金沢市立泉野小学校「ひいらぎバザー」建設ブース出展	7月22日	石川県金沢市	業界14人、一般450人
	保育園児とのふれあい活動（加賀建設業協会）	5月31日	加賀市片山津温泉町キッズランドいなみえん	業界17人、一般140人
	海拔表示板仮設設置事業（加賀建設業協会）	6月15日	加賀市塩屋所町	業界9人、一般70人、自治体11人
	夏休み親子ふれあい木工教室（加賀建設業協会）	8月25日	小松市那谷町かが森林組合那谷工場	業界9人、一般43人
	梯川ゴミ拾い（小松能美建設業協会）	9月22日	石川県小松市梯川沿川	業界200人、一般700人、自治体100人
	はたらくくるまがやってくる（小松能美建設業協会）	5月3日	小松市 公会堂～京町交差点、公会堂～空とこども絵本館（通行止めにて開催）	参加総数1,000人
	安全意識啓発研修会（小松能美建設業協会）	4月25日、10月17日	小町市会議室、小町市職員駐車場	業界2人、自治体60人、
	土木の日協賛 講演会（小松能美建設業協会）	11月16日	小松能美建設業協会	業界30人
	献血奉仕活動（小松能美建設業協会）	11月22日	小松能美建設業協会	業界90人、一般10人
	標高差2702mのクリーン大作戦（白山・石川建設業協会）	5月27日～8月8日	松任徳光海岸、美川海岸、管内道路、白山	業界632人、一般6人、自治体63人
	梅雨を前に土のう造り（白山・石川建設業協会）	6月12日	白山市運動公園駐車場	業界67人、自治体5人
	公共土木施設等マネジメント協定（石川土木総合事務所と締結）、白山市道維持管理協定（白山市と締結）に基づく道路パトロール（白山・石川建設業協会）	8月30日	白山市道、及び県道	業界25人
	「小学生の見た建設の絵」募集、展示（羽昨都市建設業協会）	7月21日～11月13日	羽昨市、宝達志水町、志賀町	応募作品126点
	献血活動（羽昨都市建設業協会）	1月31日		参加総数67人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	まちなか協働パトロール (金沢建設業協会)	4月11日	市内一円及び石川県建設総合センター	業界約100人、 自治体1人
	道路クリーン作戦 (河北都市土建協同組合)	8月10日	かほく市、津幡市、 内灘町の県道等7 路線	業界26人、 自治体64人
	献血活動(珠洲建設協会)	6月26日	珠洲商工会議所	業界93人、 一般32人
福井県	足羽川流域環境保全(美山地区) 清掃活動、鷹巣・鮎川海水浴場清 掃活動、九頭竜川河川敷清掃活動、 足羽川河川敷清掃活動、九頭竜川 河川敷清掃活動 (福井地区建設業会)	7月~8月	足羽川河川敷、 九頭竜川河川敷 (森田地区、永平 寺地区)、鷹巣・鮎 川海水浴場	業界346人
	平成24年度「道守」活動 (坂井郡建設業協会)	7月27日	福井県坂井地域旧 6町内県道	業界94人、 自治体20人
	道路・河川等清掃奉仕活動 (若狭地区建設業会)	11月16日	大飯郡おおい町名 田庄	業界56人、 自治体4人
滋賀県	交通遺児及びその家族に対し寄付	11月1日	滋賀県大津市	業界54人
	平成24年度大津市総合防災訓練 (大津支部)	9月23日	市立木戸小学校	業界360人
	大津支部社会貢献活動(大津支部)	8月25日	大樟市石山内畑町 災害箇所	業界30人
	大津市学区対抗ビーチバレーボ ール大会(大津支部)	7月22日	大津湖岸なぎさ公 園サンシャインビ ーチ	参加300人
	大津支部社会貢献活動(大津支部)	8月14日より約15日間	大津市石山内畑町 災害箇所	業界約50人
	琵琶湖を美しくする運動一斉清掃 (大津支部)	7月1日	大津市内全域	業界166社、 一般・自治体 42,123人
	時間内勤務における大規模地震発 生時の応急救援・初動訓練 (湖南支部)	11月21日	湖南建設会館、南 部土木事務所、県 防災ステーション (草津川、金勝川の 合流河川敷)、各4 市の被害想定現場 (草津市、栗東市、 守山市、野洲市)	協会32人、 自治体22人
	平成24年度南部地域水防訓練 (湖南支部)	5月27日	烏丸半島県有地 (草津市下物町)	協会28人、 総数450人
	エコキャップ推進運動(湖南支部)	9月22日	湖南支部事務所	業界42社
	滋賀県湖南広域消防局との消防活 動支援に係る合同訓練(湖南支部)	9月6日	たち建設(株)丸 塚工場	湘南支部26人、 自治体21人
	近江を美しく清掃活動(湖南支部)	5月19日	栗東市役所前通、 JR手原駅前から栗 東運動公園までの 約1.5km歩道両側	業界13人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	滋賀県緊急消防援助隊合同訓練 (甲賀支部)	10月17日	湖南市夏見・湖南市野洲川親水公園	
	甲賀地域「執務時間内」大規模地震発生時の初動活動訓練 (甲賀支部)	11月29日	甲賀市甲賀町小佐治地先	業界30人
	甲賀市総合防災訓練(甲賀支部)	11月18日	甲賀市土山町鮎川山村広場	業界35人
	災害ボランティア活動並びに意見交換会(近江支部)	11月10日	宮城県山元町やまもと復興応援センター	業界6人
	平成24年度「びわ湖の日」環境美化活動(彦根支部)	6月24日	彦根市矢倉川河口両岸	業界32人、参加総数1,600人
	平成24年度多賀町防災訓練活動実施(彦根支部)	10月7日	彦根市松原町彦根市民体育センター周辺	業界10人、参加総数300人
	平成24年度彦根市防災訓練実施(彦根支部)	8月25日	彦根市松原町彦根市民体育センター周辺	業界29人、参加総数1,100人
	びわ湖岸の清掃(長浜支部)	10月10日	長浜市田村町地先から高橋町地先までの1,300m間	業界57人
	植栽工整備(ストックヤード) (伊香支部)	8月20日、9月28日	木之本町、余呉町	業界29人
	余呉湖周道路沿いゴミ拾い清掃 (伊香支部)	8月20日、9月28日	木之本町、余呉町	業界29人
	教育施設に係る社会貢献活動(グラウンド整備事業)(高島支部)	8月上旬～下旬	マキノ町、今津町、新旭町、朽木、高島町	業界62人、一般128人、自治体3人
京都府	親子でまなぶ京都の建設・土木	10月27日	京都縦貫自動車道長岡京IC付近	業界17人、一般182人
兵庫県	第6回建設ふれあいまつり	8月4日	加古川役所前広場	業界60人、一般350人
	平成24年度全県一斉奉仕作業	4月1日～11月18日	県内各地	業界1,479人
	地域安全まちづくり活動の推進	通年	県下各地域	業界549社
	全国建設青年の日「夏休み子ども工作学園」の開催(淡路支部)	8月10日	洲本市立鮎原小学校	業界15人、一般46人
	コスモスフェア～キラキラ笑顔のコスモス園～高所作業車から満開のコスモスを見よう!(尼崎支部)	11月10日	髭の渡しコスモス園	業界18人、一般40,000人
奈良県	平成24年度奈良県防災訓練	9月1日	天理市岩屋町、丹波市小学校(天理市丹波市町)	参加総数800人
	ドリーム21けんせつ絵画コンクール	11月17日	奈良県立図書情報館に展示、春日野荘で表彰	業界6人、一般122人、自治体3人
鳥取県	天神川流域における溪流稚魚放流奉仕作業	4月15日、27日、7月1日	一級河川天神川流域数力所	業界32人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	日野川一斉清掃（日野支部）	8月1日	日野管内の日野川流域	業界150人
	ボランティア・ロード砂丘清掃活動（東部支部）	8月10日、10月12日	鳥取市南隈交差点付近	業界40人
	平成24年度ボランティア・ロードごみ拾い及び除草作業（中部支部）	6月25日	琴浦町・北栄町道の駅周辺	業界36人
	クリーンアップ in 加茂川2012（西部支部）	7月29日	旧加茂川	業界6人、参加総数200人
島根県	「神話博しまね」応援活動～応援ステッカーの制作～	2月～11月	県内各事業所、工事現場、工事車両、営業車両等	
	第13回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦	7月26日	松江市袖師、嫁島地下道、歩道夕日スポット護岸周辺道路等	業界180人、自治体60人
	高校生現場見学会	10月～11月の6日間	山陰自動車道多伎朝山道路建設工事現場、松江市立宍道中学校校舎建設現場等	県内6校、業界12人、一般177人
	平成24年度ふるさとまるごとクリーンアップ作戦（島根県松江地区建設業協会）	10月3日	松江市袖師町～松江市乃木福富町	業界24人、自治体38人
	ざいごフェスティバル（島根県松江地区建設業協会）	10月14日	錦浜ふれあい広場（松江市東出雲町）	業界17人
	道の日（清掃活動）（雲南建設業協会）	8月10日	学校近隣の県道	業界20人、自治体40人
	「海岸愛護月間」における海岸清掃（島根県益田建設業協会）	7月18日	益田港海岸	業界20人
	清流高津川一斉清掃（島根県益田建設業協会）	10月14日	道の駅シルクウェイにちはら及び周辺の高津川（津和野町池村）	業界36人
	歳末特別警戒出動式（島根県益田建設業協会）	11月30日	益田警察署駐車場	業界1人
岡山県	道路清掃、草刈り（津山支部）	7月6日	倉敷市内	業界54人
	大島大橋付近法面草刈（大島支部）	6月1日		参加総数26人
	環境美化活動（道路清掃）（柳井支部）	8月9日		参加総数31人
	河川環境美化活動（玖珂支部）	6月20日		参加総数27人
	清流錦川（周南地域）一斉清掃大作戦（周南支部）	7月8日		参加総数8人
	末武川河川清掃（周南支部）	7月1日		参加総数17人
	道路環境美化活動（周南支部）	7月21日		参加総数103人
	防府環境美化推進活動（防府支部）	12月12日		参加総数106人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	公共施設クリーンアップ作戦 (山口支部)	7月13日		参加総数 277人
	公共施設クリーンアップ作戦 (宇部支部)	8月10日		参加総数 155人
	「道の日」公共施設クリーンアップ作戦 (下関支部)	8月10日		参加総数 57人
	粟野川河川公園クリーンアップ作戦 (豊田支部)	7月10日		参加総数 21人
	河川愛護月間行事(田部川) (豊田支部)	7月21日		参加総数 10人
	河川愛護月間行事(木屋川) (豊田支部)	6月7日		参加総数 12人
	クリーンアップ作戦 河川の部 (美祢支部)	7月26日		参加総数 68人
	クリーンアップ作戦 道路の部 (美祢支部)	8月10日		参加総数 51人
	河川海岸愛護県民運動に懸かる草刈・清掃 (長門支部)	7月5日～25日		参加総数 25人
	萩市市民一斉清掃(萩支部)	7月8日		参加総数 42人
香川県	8月10日の「道の日」を中心に、協会の支部・部会ごとに、道路・海岸・公園清掃奉仕活動等を実施	8月10日	高松市、丸亀市、善通寺市、観音寺市、三豊市、東かがわ市、さぬき市、ほか隣接町	業界 1,584人、一般 20人、自治体 12人
	河川清掃(建築部会)	6月23日	香東川河畔公園周辺	参加総数 150人
	道路清掃(建築部会)	8月1日～8月20日	部会員(52社)各社の事務所所在地・左右500m間の道路	参加総数 300人
	献血運動(建築部会)	10月6日～7日	サンメッセ香川	参加総数 100人
	献血運動(高松支部)	6月7日～8日	香川県土木建設会館	参加総数 100人
	道路清掃(高松支部)	8月10日	国道193号線	参加総数 100人
	道路清掃(中讃支部)	5月8日、8月10日、11月13日	中讃土木管内の香川県が管理する道路	参加総数 280人
	献血運動(中讃支部)	7月6日	中讃建設業協同組合会館	参加総数 100人
	公園清掃(西讃支部)	4月7日、8日	戸川ダム公園	参加総数 15人
	献血運動(西讃支部)	6月29日、2月中旬	香川県建設業協会西讃支部会館	参加総数 80人
	道路清掃(西讃支部)	8月10日	三豊市南部地区の国道377号線、県道観音寺池田線、西讃大規模農道	参加総数 100人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	海岸清掃（長尾支部）	6月15日	東かがわ市の5海岸、さぬき市の2海岸	参加総数 67人
	防犯パトロール及び防犯キャンペーン（長尾支部）	6月29日、7月4日、7月9日	三木町学園通り駅前	参加総数 16人
	道路清掃（長尾支部）	8月10日	さぬき市志度内	参加総数 32人
	献血運動（小豆支部）	6月18日	東かがわ市 JR 三本松駅前、JR 白鳥駅前、JR 引田駅前	参加総数 29人
	道路清掃、危険箇所点検（小豆支部）	8月10日	主要地方道高松長尾大内線（旧バイパス）三木～大内（約30km）	参加総数 70人
徳島県	四国遍路みち清掃活動	9月21日	徳島県内の札所（お寺）24寺の遍路道	業界 588人
高知県	平成24年度高知県総合防災訓練	2月5日	宿毛市総合運動公園ほか	一般多数
	防犯パトロール	毎月	高知市	業界多数、一般多数
	県民一斉清掃活動	2月5日	高知市	業界106人、一般多数、自治体多数
	「88 クリーンウォーク」清掃活動	8月8日	県内全域	業界473人、その他多数
	高校生の現場実習	8月20日～28日、11月26日～27日	高知市近郊、宿毛市近辺	一般11人
	高校生の現場実習（インターシップ）	12月12日、13日	県東部地区	一般8人
	高校生の現場実習（インターシップ）	12月18日、19日	高知市、南国市	一般12人
	第27回現場見学会	12月17日		業界1人、一般43人
	高校生の現場見学会	11月21日、28日	高知市、安芸市	業界3人、一般49人
	「土木の日」国道・河川清掃活動（室戸支部）	11月3日	室戸岬周辺	業界26人、一般多数
	「土木の日」清掃活動（安芸支部）	11月16日	安芸支部管内	業界31人
	「土木の日」道路清掃（高吾北支部）	11月19日	佐川町、越知町、仁淀川町	業界80人、自治体40人
	四万十川一斉清掃（中村支部）	4月8日	中村地域、西土佐地域	参加総数多数
	88 クリーンウォーク（中村支部）	8月8日	各社事務所及び工事現場周辺（四万十市、黒潮町）	業界29社

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	道路清掃活動（中村支部）	2月5日	四万十市古津賀・赤鉄橋周辺	業界32人、自治体多数
	防犯パトロール（中村支部）	7月28日、11月22日	四万十市中心部	業界60人
	「土木の日」道路清掃（高陵地区建設業協会）	11月16日		業界65人、自治体15人
	「土木の日」清掃活動（高幡支部）	11月19日	旧窪川町管内	業界75人、自治体20人
	防犯パトロール（高幡支部）	8月11日	窪川地区町内	業界9人
	「土木の日」清掃活動（南国支部）	11月16日	香南市吉川海岸	業界34人、官庁22人
	吉川海岸堤防の清掃活動（南国支部）	10月5日	香南市吉川海岸	業界2人
	砂防親水公園内東屋の屋根の吹き替え作業（嶺北支部）	7月17日	砂防親水公園	業界3人、一般5人
	防犯パトロール（嶺北支部）	毎月	嶺北支部管内	
	防犯パトロール（高知支部）	5月・7月・11月を除く毎月	高知市	業界112人、一般5人、自治体9人
	「土木の日」道路清掃（高知支部）	11月18日	市内各所	業界80人
	海岸一斉清掃（高知支部）	7月15日	高知市	業界4人、一般多数
	浦戸湾・七河川一斉清掃（高知支部）	7月15日	高知市	業界91人
	土佐清水市クリーン作戦（土佐清水支部）	10月26日	土佐清水市一円	業界40人、参加総数505人
福岡県	献血活動	11月1日～12月31日	福岡市、北九州市	業界230人、一般109人、参加総数339人
佐賀県	幼稚園及び保育園の「砂場クリーン作戦」	10月27日	県内12カ所	業界85人、一般309人
	芝生の広場造り（建設業協会佐賀）	6月9日	尚賢保育園	業界51人、一般29人
	カーブミラー清掃活動（神崎建設業協会）	4月9日、9月24日	神埼町仁比山・西郷地区、吉野ヶ里全域	業界60人
	カーブミラー清掃活動（鳥栖建設業協会）	5月16日	鳥栖市内	業界13人
	第6回津の里子どもまつり（小城建設業協会）	2月14日	牛津保険福祉センター「マイル」	業界27人、一般250人
	少年野球教室（唐津建設業協会）	12月10日	唐津市野球場	業界20人、一般180人
	土木の日記念事業 植樹活動（伊万里建設業協会）	11月16日	井手口ダム周辺	業界26人、一般8人
	「杵島建設業協会ボランティアの日」保育園の側溝清掃（杵島建設業協会）	9月7日	白石町内の公立保育園4カ所	業界25人、一般8人、自治体8人
	献血推進活動（杵島建設業協会）	10月23日	杵島建設業協会	参加総数100人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	「ボランティア地域貢献活動奉仕作業」除草作業・ゴミ拾い (藤津建設業協会)	6月28日	太良町白浜海水浴場	業界24人
	除草作業及び砂場抗菌砂入替え (藤津建設業協会)	7月16日	吉田保育園	業界12人
	ガードレール清掃 (藤津建設業協会)	7月17日	国道498号線、塩田橋～鹿島市境	業界12人
	草刈清掃作業 (藤津建設業協会)	7月23日	207号バイパス側道ほか	業界29人
長崎県	2012 省エネ・エコで地球環境にやさしい住まいづくり住宅フェア (長崎支部)	10月27日、28日	おくんち広場	業界21人、一般多数、自治体 数十人
	DOVOC フェア 2012「浜町パネル・模型展」(長崎支部)	11月17日	浜町ベルナード観光通り	業界34人、一般多数、自治体 数十人
	土木の日イベント「親子ふれあい体験」(佐世保支部)	11月11日	佐世保市島瀬町	業界90人、一般5,000人、自治体10人
	住まい・るフェスタ 2012 in 佐世保 (佐世保支部)	10月7日	島瀬公園 (佐世保市島瀬町)	業界10人、一般3,000人、自治体10人
	土木の日「土木とのふれあい in 県北 2012」(北部支部)	11月18日	田平公園運動広場	業界150人、一般約600人、自治体5人
	長崎県総合防災訓練 (大村支部)	5月20日	九州電力火力発電所跡地 (大村市寿古町)	業界35人
	大規模災害発生時における支援活動 (社会貢献) に基づく通報訓練 (対馬支部)	7月13日	対馬振興局	業界23人、自治体14人
	第15回土木の日 in 対馬 2012 (対馬支部)	11月18日	清水ヶ丘グラウンド、巖原体育館	業界50人、一般750人、自治体25人
	第20回土木の日建設現場バスツアー (五島支部)	11月17日	五島市内	業界9人、一般35人、自治体3人
	第21回土木の日イベント (五島支部)	11月17日	南松浦郡新上五島町	業界30人、一般500人、自治体16人
熊本県	清掃、環境保全活動、家屋補修ボランティア、防災訓練	6月9日～11月9日	熊本県内一円	業界約1,500人、自治体若干名
大分県	平成24年度第28回献血事業 (大分支部)	8月22日～24日	中央・西大分地区、南大分地区、東大分・鶴崎・坂ノ市地区、大南地区、佐賀関地区、湯布院・庄内・挟間地区	参加総数188人
	平成24年度第8回無事故・無違反コンクール (大分支部)	8月1日～1月31日		参加総数970人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	賜谷城周辺の清掃奉仕活動 (杵築速見支部)	3月27日	日出町賜谷城跡地	業界25人
	県道山香大田線と下切井出ノ上線 草刈り(杵築速見支部)	8月3日	杵築市大田俣水	業界12人
	「ザビエルの道ウォーキング大会」 に伴う階段・石積の復旧作業 (杵築速見支部)	10月16日	速見郡日出町豊岡 の西鹿鳴く越道	業界30人
	広域農道「オレンジロード」草刈り・ 清掃活動(杵築速見支部)	11月15日	杵築市大内	業界40人
	不法投棄物撤去ボランティア (宇佐支部)	3月16日	宇佐市院内町定別 当 岳切溪谷駐 車場付近	業界21人、 自治体2人
	宇佐夏越祭り宇佐神輿パレード (宇佐支部)	7月28日	宇佐市大字南宇佐 宇佐神宮境内及び 周辺地区	業界28人、 一般222人、 自治体50人
	献血活動(中津支部)	6月9日	中津ゆめタウン駐 車場	
	九州北部豪雨災害復旧作業 (中津支部)	7月3日、 7月14日	本耶馬溪、耶馬溪、 山国	業界80人、 一般2,437人、 自治体375人
	豪雨被災の河川プール土砂除去作 業(中津支部)	7月27日、 7月28日	中津市山国町草本 河川プール	業界30人
	夏期広報活動(中津支部)	8月3日	市内飲食店訪問	業界2人、 一般20人、 自治体15人
	いずみの園フェスタ(中津支部)	10月20日	いずみの園内	業界7人、 一般463人、 自治体150人
	献血(日田支部)	9月19日	日田支部事務所	業界52人
	玖珠祇園大祭(玖珠支部)			
	ベストを着用し道路清掃 (玖珠支部)		玖珠土木事務所	20人
	大野川クリーンアップキャンペー ン「三重川」(大野支部)	11月1日	豊後大野市三重町 エイトピアおおの	業界15人、 一般50人、 自治体30人
	第27回チャリティーゴルフ大会 (大野支部)	11月10日	三重カントリーク ラブ	業界20人、 一般14人、 自治体8人
	鮎放流事業(臼杵支部)	4月24日	臼杵市内各河川 (臼杵川、末広川、 乙見ダム)	業界3人、 自治体19人
	うなぎ放流(臼杵支部)	7月26日	臼杵川	業界3人、 自治体5人
	鮎(卵)の放流(臼杵支部)	10月24日	臼杵川	業界3人、 自治体11人
	河川清掃活動(臼杵支部)	7月26日	臼杵市	業界52人、 自治体約50人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	道路清掃活動（臼杵支部）	8月10日	臼杵市内道路沿線	業界41人、 自治体約65人
	青年部会が公園で清掃活動 （津久見支部）	10月12日	つくみん公園	業界13人
	道路清掃実施計画（津久見支部）	8月10日	津久見市内の主要な国道・県道・市道	業界16人
	「河川愛護月間」河川清掃実施計画（津久見支部）	7月26日	津久見川・青江川	業界17人
	第62回つくみ港まつり （津久見支部）	7月14日、 15日	津久見港防波堤	
	第2回佐伯三の丸神楽大会 （佐伯支部）	2月4日	大分県佐伯市大手前櫓門前	
	河川環境保護（佐伯支部）	4月、5月、 6月、9月	弥生淡水魚センター、市川エノハ養魚場、佐伯市宇目重岡川、酒利、御泊	
	平成24年度大分県総合防災訓練 （佐伯支部）	11月11日	佐伯市総合運動公園	参加総数1,200人
	「道の日」道路清掃（佐伯支部）	8月10日	佐伯市国道217号、388号線沿い	
	第14回U-18サッカー選手権マリンカップさいき2012（佐伯支部）	3月10日、 11日	佐伯市総合運動公園	
宮崎県	平成24年度奉仕活動	6月～11月	県内11地域の小学校ほか	業界235人、 一般551人、 自治体50人
	平成24年度土木の日	11月18日	県内11地域の小学校ほか	業界235人、 一般551人、 自治体50人
鹿児島県	'12土木フェスタ in Kagoshima	11月10日	JR鹿児島駅隣接地（鹿児島市）	参加総数803人
沖縄県	献血キャンペーン	10月24日 ～25日	那覇市、北谷町	200人
	第4回フォトコンテスト	11月19日	沖縄県庁	139件
	「減災・防災ガイドブック」の発刊	9月1日	沖縄県民に配布	10万部配布

※本会が実施したアンケート調査の回答をもとに取りまとめています。

参考 リーフレット「生活を守り まちをささえる建設業 Vol.7」

省 略

平成24年度
建設業社会貢献活動事例集
—生活を守り まちをささえる建設業—

平成25年3月

発行 一般社団法人 **全国建設業協会**

東京都中央区八丁堀2丁目5番地1号

☎ 03(3551)9396(代表)

<http://www.zenken-net.or.jp/>

許可なく複製転載を禁ず

印刷 株式会社ガイドプラントキョー

4000 2013.3